大正九年十二月二十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊

六月四日

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵税一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

開封の堅陣により 蔣、最後の抗戰

我が軍意氣冲天、敵を呑む

【北京三日發國通】蔣介石が徐州敗戰の汚名を雪ぐべく中央軍精銳兵力を

動員

して防備を固めつゝある開封は北東南に面して數條の堅陣が構築され城壁の如き隴海線要衝中にその比を見ざる堅固さで、作戰用兵上にもその價値頗る大である、即ち開封の陷落は直接鄭州の線を崩壞に導き京漢線南段漢口に至る死命を制するに至るので、蔣介石はあくまでこれを死守すべく總指揮胡宗南に嚴命を下してゐる、これに對しわが軍は徐州、歸德を攻略した冲天の勢ひをもつて進擊、一擧に頑强な敵を屠り開封、鄭州を攻略勢ひの赴くところひた押しに漢口を攻略せんとしつゝあるすでに打續く敗戰に士氣全く振はぬ支那軍はわづかに蔣介石直系軍の戰線參加により抗勢を維持してゐるに過ぎず、將兵の浮足立つた陣形建直しに胡宗南は日夜苦慮を重ねてゐる、蔣介石はすでに敗戰の結果が直ちに漢口の防備困難を招來すべくを慮り極秘裡に軍最高機關の奧地遁入準備をなしてをり、最後の手段としてわが軍が兵力を集結する以前に蘭封附近戰線において攻勢に出で一擧潰滅せんとしたが、つひに企圖を挫折せしめられ計畫も水泡に歸するに至つたので開封、鄭州會戰に於ては徐州戰と同樣敗戰を覺悟しながらも能ふ限り抵抗を試み國民の前に責任を塞ぎ長期抵抗の中に隱れて敗戰の汚名を免れんと腐心してゐるが、京漢線南段と武漢三鎭の

挫折

が實現すれば蔣の政治的生命は盡きたも同然であるから開封會戰を序曲とする鄭州、京漢線南段攻略戰こそ蔣介石最後の抗戰力發揮ともいふべく、この期間內の軍事行動こそ日支事變中の最も緊要なものとして開封の戰局の進展と共に重視されてゐるところである

開封攻略戰進展

【北京四日發國通】四日午前十時三十分軍司令部發表

五月下旬以來〇〇部隊は蘭封附近に於て約廿ケ師の優勢なる敵と對戰し敵に多大の損害を與へたるが、六月二日午前十時一齊に當面の敵に對し攻擊を開始し、西方面においては同十一時頃わが第一線は馬庄、任庄、小寺陵の線に進出し、南方面においては蔡莊、判澤庄、張樓、李庄の線を突破せり敵は頑强に抵抗するもわが猛擊に耐へず昨三日未明より退却を開始し、わが軍はこれを追擊中なり、同部隊の蘭封附近における戰果中判明せるもの左の如し

遺棄死體五千、鹵獲又は破壞せる戰車、裝甲車類二十、鹵獲せる機關銃十、小銃五百、野砲五、重砲彈二百、小銃彈九萬一千百、機關車二、貨車七十一、その他多數

開封の攻略 刻一刻と切迫

【石家莊三日發國通】蘭封を陷れて黃河の渡河點陳留口を確保したわが〇〇部隊は、滿を持して鳴りを鎭め次期作戰に備へ着々準備中であつたが準備全く成り二日午前十時決然起つて隴海線の南側を西に進擊するわが友軍と呼應、活動を開始した、これがため陳留口の奪取を企圖する開封東方の敵は南北よりするわが〇〇の重壓を受けることゝなり續々開封に向けて退却をはじめ、わが軍は目下これを急追中で、開封の攻略も刻一刻と追りつゝある

廣東爆擊續行

【上海三日發國通】艦隊報道部午前十時發表

二日海軍航空隊は左の活動をなせり

一、南雄飛行場を攻擊に向へる部隊は數十の直擊彈により附屬建物の大多數を爆破し飛行場滑走路をも爆破せり

二、廣東・九龍間自動車道路及び軍用自動車を攻擊せる部隊は重爆擊機により軍用自動車二十餘輛を爆破し道路上數ケ所を爆破せり

廈門對岸 逆襲を企て蠢動

【廈門三日發國通】廈門對岸の敵は最近頻りに蠢動を開始し二日正午頃わが〇〇隊が高崎附近にあつた時、對岸より突如機銃の猛射を浴せ來つたので、わが方は直ちに巨砲で應戰これを沈默せしめた、對岸の敵は最近漳州に約十萬の正規兵を擁して逆襲の機を狙ひ軍用戎克多數出沒しはじめたので、わが軍は警戒の手を緩めず時々巨砲を浴せて威嚇してゐる

航空部隊充實

飛行集團司令部新設

【東京國通】陸軍では航空部隊整備充實のため航空兵團司令部の下に新たに飛行集團司令部を設置することゝなり、四日軍令をもつて飛行集團司令部令を公布する筈である、その中主なる點は左の如し

第一條　飛行集團長は陸軍中將を以てこれに親補し天皇に直隸し部下航空部隊を統率す

第二條　飛行集團長は部下航空部隊の練成につきその責に任ず

第三條　飛行集團長は部下航空部隊の動員計畫を監督す（以下略）

なほ本令は六月十日より施行されるものである

駐日支那大使館 愈よ正式閉鎖か

十八日の重大發表注目さる

【上海四日發國通】漢口よりの確報として傳へられるところによれば、國民政府外交當局は來る六月十八日を期し日支外交關係に關する重要發表を行ふ筈で、其內容に關しては嚴秘に附されてゐるが駐日大使館の正式閉鎖であると傳へられてゐる、駐日支那大使館は許世英大使が引揚後も依然として國民政府外交機關として存續閉鎖されることなく今日に至つたものであるが今回突如として右の如き擧に出でんとするに至つたことについては多大の注意を惹いてゐる

×　×　×

線の太さと心の溫さ 人間板垣征四郎

朝野の翹望を擔つて立つ

板垣といふ人物が吾々の胸裡に偉大なる武人としてクローズアップされたのは滿洲事變なのである、そして板垣が何か大仕事をやるだらうと世間から手腕と力量を期待される線になり、線の太さを見出されたのも滿洲事變だつたのである、それ程人間板垣と滿洲け支那大陸と共に深い關係を持ち、滿洲は板垣でなければ及び能はぬ大仕事をやつてのける膽力を錬つた人生道場であつたのである

×　×　×

柳條溝の鐵道爆破をきつかけに奉天にかけつけた板垣は當時の軍司令官本庄大將の下にあつて石原、片倉などゝいふ强硬派と渾然一體となり巧妙なる作戰をもつて寡兵をもつて十數倍の東北軍閥を各地に擊破、當時まだ混沌としてゐた日本朝野の對滿政策を現地からぐん／＼リードし、一氣に滿洲國の獨立にまで時局を引張つて行き、その手腕と力量を天下に謳はれ、內外を瞠服せしめたのである、その後彼は軍の機構改革と共に奉天特務機關長として滿洲に殘り充分の政治的手腕を發揮して或は南支に飛び或は日本に走り、一意滿洲國育成のために文字通り南船北馬、席の溫まる遑もなき活動を續け、一旦滿洲を去つて參謀本部に悠々英氣を養つてゐたが、滿洲國軍政に武人板垣を必要とするに至つて軍政部最高顧問として來滿、滿洲國軍政に非凡の力量を發揮して軍政を確立して武人政治家としての貫祿を認められ、岡村少將の後を襲ひ關東軍參謀副長の榮職に補せられ、更に西尾參謀長の參謀次長轉補と共に關東軍參謀長に昇進し、その俊銳な頭腦と、その押しの强さとその實行力の逞しさで建設期にあつた滿洲の大仕事をどし／＼やつてのけたのである

×　×　×

在滿兵備の擴充にしろ　大量移民の計畫にしろ、五ケ年計畫の立案にしろ板垣の板垣でなければ押切れぬ尨大な案であり難問題であつたのだが、難航を續けながらも押切つたところに「板垣の太つ肚」と强さがあつたのである、百萬戶五百萬人の大量移民計畫案が組まれたとき、想像もつかぬ机上案だと色をなして官邸にかけ込んだ某大官が「板垣さんに會つちやかなわない、大和民族の大陸移動ぢやとやられたんぢやね、理屈に合はぬことではなし、やらぬのが理屈に合はんのぢやと呵々大笑されたんぢや、やらざるを得ない」と丸くをさめられて歸つたといふが、板垣は人に決して惡い感じを與へたことがない、そこに板垣の太さと人を惹つける魅力があるのである、「板垣さんの話は大きいが、ちやんと理屈に合つてゐる、話をしてゐるうちに何だか溫いものを感ずる」と張國務總理が誰かに語つたといふが、張總理のこの評こそ武人板垣のすべてなのである

×　×　×

物言ひの靜かな、人としては溫和な好個の紳士であるが一度劍をとつて陣頭に立てば、鬼神をも避くる武將となり、如何なる難關に幾度遭遇しやうとも、運を天に託して武將としての强さと深さの知れぬ底力を持ち續けられる武人である、山西の山嶽戰で十數倍の敵と遭遇して非常な苦戰に陷つたとき、視界を辨ぜぬ濃霧惡氣流の危險を同じ機上から全軍を督戰して戰局を好轉せしめ山西軍を擊破した武將板垣の部下思ひに將兵共に泣いたといふ戰場美談こそ武將板垣の眞の姿であり泣いてはならぬ武人板垣は人知れず機上で男の淚を流したのである彼が非常時局更生內閣の陸軍大臣として登場したのは、板垣のこの太さと、强さと、溫かさを非常時局が必要とし板垣が朝野の翹望を擔ひ、大仕事をやつてのける秋が來たのである

板垣中將略歷

板垣將軍といへば大陸と結び合せて考へる時一層その存在が光る、板垣陸相實現の妥當性については誰もが異論のないところであらう、新陸相は陸士第十六期生、次いで陸大を出るや北支駐屯軍參謀として大陸への第一歩を踏出した爾來高級參謀に至る迄支那班員、支那班長、在支武官補佐官を勤め、此間大隊長、聯隊長等の部隊に出た以外を其殆んど前半を支那に後半を滿洲に過してゐる、日本の大陸政策を今日に持つて來た立役者として滿洲事變と新陸相を語るには餘りにも有名過ぎるのである、時局柄板垣新陸相の實現は大陸政策遂行上一段と重味を加へたと云ふ事において內閣改造の成功を謳へばそれでよいのである、本年五十四歲

滯京第二日の伊經濟使節

日滿要路に挨拶 恭しく國書捧呈

盟友の英靈にも默禱を捧ぐ

滿伊經濟提携の重要使命を擔つてきのふ來京したイタリー經濟使節團の一行は宿舍ヤマトホテルに國都の第一夜を過したが、今朝來早くもホテルサロンに姿を現はし滿洲風物記錄をみたり、接伴員からいろ／＼と說明を聽き午前十時一行は松村、夏接伴員に伴はれて忠靈塔に參拜した、初夏の太陽は燦々と輝き忠靈塔に眠る盟友の英靈に暫しの默禱を捧げ續いて同十時半國務院に到着した、建國以來僅々六ケ年の間に建設された堂々たる廳舍に驚異の眼を瞠りつゝ國務院職員多數の出迎へを受けた一行は直ちに張總理と會見來滿の挨拶を述べ續いて韓經濟、孫民生、李交通、馮司法各部大臣、星野長官、扎興安局總裁、蔡外務局長官に同樣それ／＼來滿の挨拶を述べ固き握手を交しシャンパンを拔いて初の交驩を行ひ終つて一行は更に十時五十五分軍司令官々邸に植田全權大使を訪問し、植田大將、加藤參事官に同樣の來滿の辭を述べ挨拶を取交し同十一時廿分ヤマトホテルに歸着した

□

滯京第二日を迎へたイタリー經濟使節團コンテイ團長以下十三名の一行はコルテーゼ公使とゝもにけふ午前十一時三十分ヤマトホテルを出發し宮內府に參內、熙宮相侍立の下に畏くも皇帝陛下に謁見を賜り國書を捧呈したが、更にコルテーゼ公使、コンテイ團長ボエリエール博士、ブライア博士の四名は御陪食の榮に浴し一同感激午後一時半退下しヤマトホテルに歸還した、なほ午後は市公署を訪問し市長に記念品を贈呈し引續き國都建設狀況の說明を聽取した

郵政總局異動

郵政總局電政科長　山田龜一
郵政總局經理科長を命ず
郵政總局副局長　岡本忠雄
郵政總局電政科長事務取扱を命ず（各通）

滿鐵辭令（新京支社）

新京支社庶務課職員　川田健二
新京支社鐵道課勤務を命ず（六月一日）

人事往來

着京

▲尾形清氏（電機材料商）四日來京國都ホテル
▲爲永保五郎氏（會社員）三日來京ヤマトホテル
▲畝村金次郎氏（三菱朝鮮鑛業所）同國都ホテル
▲內田勝司氏（東亞興業）同
▲石川義雄氏（同）同
▲武方織太氏（福昌公司）同
▲林良作氏（咸興商工會議所）同
▲土谷惟一氏（同）同
▲古田統三氏（兼松商店）同
▲中井龍太郎氏（大倉商事）同國際ホテル
▲小黑善藏氏（官吏）同
▲瀨良源郎氏（商業）同向陽ホテル
▲山口兵助氏（同）同
▲鹽島廣次郎氏（官吏）同
▲川井喜八氏（東拓技師）同
▲根本辰雄氏（官吏）同新京ホテル
▲野村德七氏（綿布商）同
▲福田周正氏（僧侶）同
▲大貫三郎氏（淺野物產）同都ホテル
▲神田禹氏（協和建物）同
▲山崎幸太郎氏（同）同
▲太守弘光氏（大同殖產）同
▲增井敏夫氏（大同セメント）同
▲今田益市氏（吉林金融合作社）同
▲山口志郎氏（滿鐵社員）同
▲服部英雄氏（滿蒙毛織）同

大都ホテル
▲松山善一氏（油化工業）同
▲加藤直太郎氏（會社員）同
▲高橋協氏（滿洲モータース）同
▲藤枝重組氏（商業）同
▲古賀慈泰氏（醫師）同
▲和田悅藏氏（鐵材商）同
▲榊原俊藏氏（田村組）同滿蒙ホテル
▲保坂隆一氏（技師）同
▲中山克二氏（會社員）同
▲山崎龍一氏（同）同
▲酒井重之助氏（滿洲鑄鋼）同
▲岩脇多計之氏（三井物產）同
▲阿部吟次郎氏（同）同
▲立田重太氏（官吏）同富士屋旅館
▲北村重憲氏（鑛業）同
▲瀨久勝氏（同）同
▲中川太作氏（日滿商事）同都ホテル
▲薄井友治氏（藝務科長）同

出發

▲橋元文治氏　四日奉天へ
▲加藤庄武郎氏　京城へ
▲崎田安正氏　同
▲小野繁松氏　同
▲丁野隆景氏　哈市へ
▲神田道德氏　同
▲浦澤一男氏　同
▲入江郡一氏　同
▲飯澤龍治氏　同
▲住谷金吉氏　同
▲佐藤嘉三郎氏　奉天へ
▲遠藤新氏　同
▲熊平淸一氏　同
▲桐越信雄氏　哈市へ
▲小南國雄氏　同
▲伊藤競氏　大連へ
▲久住悌三氏　淸津へ
▲堀辰男氏　奉天へ
▲岩島太郎氏　同
▲深浦宗壽氏　同
▲村岡智勝氏　大連へ

その日〳〵

□ 國都また國際的交驩の色彩に包まる、歡喜と希望を溢れさせて

□ こゝに堅實なる躍進の譜を奏し、遙かに思ひを盟邦に致して友誼を誓ふ

□ 雄大なる大陸の風光、初夏爽風下に互きく脈搏うつをきゝたまへ

□ 滿洲の認識に最も透徹せる將星いま陸軍首腦部にあり、待望從つてまた大

□ 國民政府落ちて來る爆彈に膽驚き、日本の體制の整備に魂冷えてゐやう

イタリー使節が心からの贈り物

ローマ神話に因む牡狼像

午後は躍進國都を視察

滯京二日目午前中に忠靈塔參拜、關東軍、國務院を訪問した經濟使節團一行は午後二時四十分市公署を

訪問

全署員の出迎裡に市長室でコンテイ團長より市長に對し牡狼像贈呈の挨拶があり于市長これに對し鄭重なる答辭となし近くローマ市へも記念品を贈る事を約し固い握手を交した後、屋上に出て市中を展望し武藤國建技正より手にとる樣に躍進國都の詳細な說明をすれば今更の如く其驚異的發展に目をみはり終つて槇田官房庶務科長の先導で協和會に赴き講堂で映畫「伸び行く國都」及「農業滿洲國」を觀覽した後三時三十分より新京交通會社が誇る獨逸製大型バスユンケル車上の人となり市公署前を出發心良い初夏の薰風にゆられ乍ら大同大街より至聖大路南嶺大路に出で一旦停車の後磐石路を通り再び大同大街に戻り至聖大路で停車し順天公園、興仁大路から大同大街へ出で心行くばかり

國都

の建設狀況を視察して六時頃ヤマトホテルに歸着した

コンテイ氏挨拶

私は羅馬市の名に於て新京特別市に對し三千年來伊太利文明の象徵たる牡狼を贈呈するの光榮を有します、此の牡狼は我國の貴國承認に依てなされた貴國に對する我國の友情を物語る證據として貴市の廣場に置かるることで御座いませう、私達は又貴市の崇高にして傳統に富める文明の象徵たる貴市の贈り物が滿洲國民の伊太利國民に對する永久不變の友情を物語る物として「羅馬廣場に置かるることを考へ感に打たれるので御座います

新京市長答辭

閣下並に使節團各位 私は新京市長としてコンテイ閣下を通じ羅馬市より御贈り下さつた牡狼を伊太利國民の滿洲國民に對する友情を示すものとして茲く頂戴致します、近い內に新京內の最も適當なる地點に置く心組であります

閣下に於かせられましては伊太利へ御歸りの際羅馬市長閣下に此の立派な贈物に對する我等の心からなる感謝の情を御傳へ下され度又我が市より羅馬市に對して近き將來に同樣た意味を有する贈り物を爲することは我等の幸と考へるばかりでなく名譽と考へる旨御傳へならんことを希望致す次第で御座います

牡狼像の由來

この度ローマ市より新京特別市に贈られた古代ローマ神話に因む牡狼像は立四尺長さ六尺の立派な銅像で近く國都の適當な公園に滿伊兩國都の親善を永久に記念する贈物として永く保存せられることとなつてゐるが、傳說として傳へられてゐるこれがいはれは次の如くである

古代ローマの軍神アレースは亂暴狼藉の神ではあつたが美の女神アフロヂテとの間に三人の子迄出來たがイリヤといふヘスチヤ神社の巫女と秘密に結婚しロムルスとレームスとの雙子を生ました元來ヘスチヤの巫女はその神に仕へてゐる間は貞淑を守り決して男子に接せぬとの嚴重な誓ひをたてこれを破る時は死なねばならぬのである、そこで彼女の兩親は大いに驚いたが又嚴格一途の人であつたので娘を生きながら埋め殺し、其雙兒は之を山に棄てて鳥獸の食ふに一任した、然るに一匹の牝狼が來てこの雙兒に乳をのませて養ひ、後には近くの牧羊者が拾ひ上げて養育したロムルスとレームスは狼と牧羊者との恩で成長し勇壯な男子となり成長の後は自分等の大きな運命を開かうと思うて山を出で方々を遍歷し遂に或る景色の好い河のほとりの小山の所へ來て此處に自分等の將來の國を建て樣と決心して地面に繩張を始めたが意見が衝突して兄は弟を殺した、それから後はロムルス一人で其計畫を進めてゐると諸方から無賴漢が集つて協力し羅馬を建てロムルスは初代ローマの國王となつたものである

旅情を慰める數々のプラン

三日國都入りした伊太利經濟使節團の夫人、令孃に對する接待は國防婦人會接待委員の手によつてなされるが、左記の如き日程となつてゐる

▲四日午後二時ホテル發、新京神社、忠靈塔參拜、特別市公署訪問後市內見物、午後七時軍人會館で國防婦人會主催懇談會
▲五日午後七時中銀クラブで中銀招宴
▲六日午後一時ホテル出發、陸軍病院、軍管區病院、恤兵院見舞、午後七時總理官邸で總理夫人招宴
▲七日晴天の際は午前八時四十分新京驛發吉林ピクニック、午後七時三十五分歸京 雨天の際は午後二時中銀總裁邸で總裁夫人招待の茶話會、終了後國務院を訪問映畫を觀覽
▲八日正午國都飯店で特產中央會、商工公會の招宴、七日晴天で吉林行の場合は引續き七日雨天の際の豫定による
▲九日午前十時三十分ヤマトホテルで接待委員集合挨拶
▲十日午前十時出發

本社主催

トーナメント式軟式庭球大會

國都庭球界未曾有の盛況

あす古豪新銳妙技を振ふ

綠風爽やかに戶外のシーズンに入り體位の向上健康報國をモットーに各種スポーツは全盛を極めつゝある時本社の主催する第一回全新京軟式庭球トーナメント大會は新人庭球マンの登龍門として歡迎され五十餘組の參加で明五日午前九時より西廣場小學校、滿鐵西廣場兩コートに於て本社並に體聯新京事務局軟式庭球部優勝杖を繞つて一大爭覇戰が行はれる、實業俱樂部、電業等の古豪を向ふに廻し滿洲火災市公署、新京商業等の新人如何なる妙技で覇を制するか惑星の出現に多大の興味がかけられてゐる、三日申し込みを締切つた本社では四日午後一時より本社樓上に於て軟式庭球部役員の立會で嚴正な抽籤を行ひ組合せを決定した(組合せは明朝刊發表)

大會次第

一、選手入場 午前正九時西廣場小學校コート
一、開會の辭
一、會長挨拶
一、審判長注意
一、試合開始
一、賞品授與
一、閉會の辭

全市を擧げて 齲齒豫防

「正しい齒列に輝く健康」四日齲齒豫防デーに新京齒科醫師會では午前十時より軍浦卓一博士が「齲齒豫防について」と題してラヂオ講演を行ひ、自動車を列ねて街頭宣傳を行つた、日本側各學校では豫防を行ふには生長期である私達の時からと校長先生のお話に引續いて齒ブラシ使用の實際や注意等齒磨教練を先生から熱心に指導を受けた、教室には生徒から募集した標語、ポスターを展覽した外齒牙並に口腔衛生狀態の優良兒に對して教務部より表彰があつた

警察總監 消防署巡閱

既報、首都警察廳管下各署の警察巡閱はトップを切つて長春大街消防署より開始、第一日三日事務の檢閱を終り第二日四日の總監巡閱は午前八時總監及副總監は隨行員を帶同署員出迎裡に消防署に至り、先づ委任官の名刺呈上署長より管內狀況報告に次いで點檢操練、捕繩術、建國體操、禮式、應問を實施午前中の日程を終り晝食の後午後一時より總監並副總監の講評、訓示あつて午後三時同署の巡閱を終了した

苦力頭盜む

二日午前零時頃吉川組苦力頭馬鳳山(三五)は奉天より來京新京驛に下車の際苦力に支拂ふ國幣五百四十圓を同道して來た同僚の山東省生れ同組苦力頭高喜廷(四一)に竊取され屆出た、犯人高は市內に潛伏中と見られ目下嚴探中である

京吉マラソン新京選手決定

昨日記錄會て正式に決定

本社主催京吉マラソンは六月十九日擧行されるが、本年度覇權を目指す新京代表選手は體育聯盟新京事務局で三日午後五時より西公園競技場に候補廿名の記錄會を開催、桑原部長始め委員永谷、本野兩コーチ選手に隨走し記錄會後詮衡委員會を開いて左の如く新京代表選手十二名を正式決定した

選手氏名

方景河(新京專賣所) 金仁煥(新京工學院) 伊藤春藏(交通會社) 周雲橋(中央銀行) 村田一郎(郵政管理局) 朴景錫(滿洲圖書) 王作智(第一國民高等學校) 于希渭(民生部) 殿彬(交通部)

大同公園て血塗れ騷ぎ

三日午後四時半頃翠綠滴る大同公園で女給風の女數名を連れ設宴中の半島人五、六名の一團が折柄同公園で營業中であつた街頭寫眞屋河北省生れ義進府(二八)に四枚六十錢で撮影させたが、半島人は料金が高いと因緣をつけ撮影した寫眞をその場で破棄したことから兩者間に口論となり擧句の果て亂鬪となつて義は一團からふくろ叩きにあはされ顏面に裂傷腦震盪で人事不省に陷入つた、急報に所轄四道街署員が駈つけた時既に加害者の一團は逃走後であつたが暴行は許せぬとあつて破棄された寫眞を手懸りに半島人料理店を虱つぶしに搜查の結果加害者は朝鮮咸鏡南道生れ市內日本橋通カフエーモカ使用人姜在俊(二一)及農安縣公署家畜交易市場勤務玄某(二三)と判明四日午前八時いづれも發見逮捕、同署では不良半島人のかゝる暴行に對しては斷乎處罰の方針で目下嚴重取調べ中である

傷病兵あす凱旋

新京陸軍病院で療養中であつた白衣の勇士六十九名は五日午後三時四十分新京驛發列車で出發內地原隊へ歸還する、又哈爾濱より三十ヵ名は新京驛着午後四時二十分、同發四十分で通過南下するが、何れも多數市民の驛頭送迎が希望されてゐる

東洋一の觀光バス 芽出度試乘會

新京バス會社では東洋に唯一台と自慢の超大型乘合自動車クルップユンカーを奉天より陸送し試運轉中であつたが三日午後一時半より治安部、市公署、首都警察廳、關東軍新聞班、觀光協會、新聞社その他を招待岩瀨孃の案內で觀光コースを試乘した

防衛講習會第四日

防衛講習會は前日に引續き四日午前八時から日滿軍人會館にて開催十時二十分まで燒夷彈消火法及び實施に就て消防署長の說明あり十時三十分から正午まで特別市公署に於て該計畫につき關屋副市長の說明あり、午後一時から二時まで吉林涤公署の警備計畫說明二時二十分から長春縣公署に於て警護計畫防空監視哨服務要領の實地教育があつて日程を終つた

滿洲發明展

國都は八月廿日から一週間 締切は來る十五日

滿洲發明協會では發明考案の普及發達を目的として特許發明局後援の下に今年より每年大連、奉天、新京の三都市に於て發明展覽會を開催することになつたが、今年度の開催日割並に會場は左の如くで出品物は國內における發明考案の外參考品として最近十ケ年間の日本優秀發明品約二百五十點も出品される筈で、同時に生徒兒童の創案品展覽會も併催される、なほ出品物〆切は發明展六月十五日、生徒創作展七月廿日である

△大連—七月廿日より一週間(幾久屋樓上)
△新京—八月廿日より一週間(第一會場寶山百貨店、第二會場三中井百貨店)
△奉天—九月廿日より一週間(商工會館)

桑貝討伐隊 縣城襲擊匪を完全掃蕩

去る〇月〇〇日〇〇縣城を襲擊せる二百の匪團はその後各討伐隊必死の努力によりその大半を擊滅せられ、敗殘匪の一部は烏斯渾河に沿ふ山地を逃げのびつゝあつたが、石川部隊桑貝討伐隊は五月卅一日午前十一時半頃依蘭縣牡丹江烏斯渾河の合流點東北方四キロ附近山地において徐德民の指揮する騎馬匪約三十を發見直ちに攻擊を加へ徐德民以下十三名を殪した、これにより〇〇縣城襲擊匪團は徹底的に掃蕩され附近住民も漸く安堵した

松尾中央局爲替課長大石橋へ

新京中央郵政局爲替課長松尾猪作氏は大石橋郵政局長に榮轉四日午後九時五十分列車で單身赴任する、なほ後任にはハルビン道裡郵政局長孫祖文氏が決定不日着任の筈

中學修學旅行 金剛山へ

新京中學生徒百七十名は三日午後六時五十分新京驛發列車で金剛山探勝の旅にのぼつた左記日程で周遊の上十一日午後三時歸着の豫定

五日清津視察、六日外金剛溫井里(バス)七日毘盧峰(徒步)八日內金剛、九日京城視察、十日平壤視察

澁谷警務司長

澁谷警務司長は三日あじあで赴奉したが四日ひかりで歸京の豫定である

松岡總裁四日來京

松岡滿鐵總裁は三日午後二時十三分着はとで吉林より來奉し奉天通過赴任の途にある東條陸軍次官を見送つた後鐵道總局に赴いた、なほ同總裁は奉天に一泊四日朝來京した

氏家中將七日來京豫定

在滿兵器燃料關係機關視察のため渡滿した海軍省軍需局長氏家海軍中將は七日午後六時二十分あじあで着京豫定

平島支社長視察

滿鐵新京支社長平島敏夫氏は三日午後發北滿、北鮮各地を視察十五日午後九時三十五分着列車で歸任の豫定

代谷參謀長明日歸任

東上中の駐滿海軍部參謀長代谷清志大佐は五日午後十時の列車で歸任の豫定

日の出を拜する集ひ

あす日曜新京の日の出時刻午前四時五十八分、西公園誠忠碑前にて市民早起會行事右終つて忠靈塔參拜

日曜講演

午後一時半から 西本願寺
一、絕對他力 中原布教師
一、念佛生活妙趣 光岡主任

基督教聯合禮拜

市內各派、基督教會聯合禮拜午前十時より中央通り日本基督教會に於て、說教「キリストに學ぶ」賀川豐彥氏

あす(五日)

▲乳幼兒愛護週間第五日
▲本社主催軟式庭球トーナメント、西廣場小學校
▲野球リーグ戰午後二時及四時半、西公園球場
▲春季第二次競馬

今晚の主なる放送

▲七・三〇軍歌合唱「戰線の歌」(大連)中等初等教員合唱團
▲七・四〇講演「歐洲大戰に於ける學者の活躍」(東京)田丸節郎
▲八・二五謠曲「熊野」(東京)梅若萬三郎
▲八・五五物語(大阪)村瀨幸子

文樂人形芝居の 常盤津「戻り橋」
―待望されるその妙技―

文樂の人形芝居は目下大連ですばらしい好評を博してゐるが、新京開演もまた目睫にせまりダイヤ街の新京三業組合大新京檢番等はすばらしい肩の入れ方で大新京檢番の如きは二日に亘り抱妓全部に藝道奬勵のため見學せしめる企てがある様子、ちよつて珍らしい現象である、寫眞は第二番目に上演する常盤津戻り橋である、人形は渡邊綱を玉幸、小百合を紋十郎が使ふ、常盤津菊路太夫、同〆尾太夫、同兼和太夫、三味線は常盤津菊八上調子は同菊一がつとめる

朝日座兩篇再映

四日から七日まで朝日座は日活、片岡千惠藏の「無法者銀平」小杉、杉、星、花柳等の「まごゝろ萬歳」を再映する

珍しい臺灣映畫「望春風」

風薫る南の國台灣の悲戀物語「望春風」(八卷)(台灣第一映畫製作所作品、日本語解説、滿文スーパー)が明五日から新京國泰電影院で紹介されることゝなつた、これは台灣の美はしい風景と、人情と音樂とを描くドラマテイツクな特異篇で、原作李臨秋、脚色二宮茂衛、演出安口好太、補助北澤行雄、撮影都築嘉橋、補助藤田英次、舞台久保田酉藏、配役は清徳に彭階陳、秋月に陳氏寶珠が主演してゐる

△梗概

南國の樂土、台灣に咲き誇る白蘭のやうにその嬌名を謳はれた薄倖の美妓秋月の悲戀物語である

當時秋月は泄馨飲料株式會社の一女工として働いてゐた、その會社の工場長蔡槐堺は日頃から若く美しい秋月に想ひを寄せて暇ある毎に秋月に言ひ寄つた、けれど既に清徳といふ戀人のゐる秋月は蔡の言葉になびく筈はなかつた

或る日貧しい清徳は立身出世の志を抱いて遠く東京へ勉學に赴いた、訣れ際に秋月と清徳とが誓ひ合つた事はお互の愛の不滅であつた、秋月は功遂げ名を擧げて歸る清徳を唯一すぢに待つてゐた

けれど清徳の留守中に、彼女を心から可愛がつてくれた父は急死し、哀れ秋月は義母の爲に花柳の巷に賣られ、遂に泥沼の生活をしなければならなかつた、美しい秋月は忽ちその嬌名を謳はれたが、清徳を戀ひ慕ふ彼女の心には變りはなかつた

かくして幾星霜は過ぎ、清徳は故郷へ錦を飾つて歸つて來た 今は將來の社長と目され社長の令孃の婿にと望まれる程有力な進馨飲料會社の社員であつた、然し清徳も秋月を忘れてはゐなかつた

或る日宴會の席上で清徳は今は名妓としての秋月と再會する事が出來た、二人の心は更に燃え盛り美しい夢のやうな日が續いた、これに反感を抱く者は秋月に邪戀の炎を燃やす蔡であつた、蔡は町の不良陳に金を與へて清徳を襲はせたり、三千圓の大金を義母に與へて秋月を身受せんとしたりした

これも清徳を戀ひ慕ふ王家の令孃は蔡から清徳に秋月といふ女性のあることを聞き、秘めたる戀を秋月に讓らんとしたが秋月は却つて令孃の純な心に打たれ、戀を令孃に讓るべく、心なくも清徳に相憎盡しの手紙を送り、蔡に身を委す決心をする

傷心の秋月は酒に凡てを忘れるより他はなく、蔡の宴會の席上で醉ひ潰れてゐる時、清徳が現はれ、彼女を賣女と罵り、蔡、陳等をやつゝけた

戀に生きんとして破れた秋月は「賣女」と罵つた清徳の言葉を胸に抱き、資買結婚の囚襲を呪ひ乍ら獨り淋しく死出の旅に上るのであつた

「ジエニイの家」好評を受く

久々の佛蘭西藝術映畫として初夏の話題を獨占してゐた東和商事提供の「ジエニイの家」は、去る二十六日、帝劇、大勝、武藏野、東映劇場に一齊封切られたが、いづれも好況で、殊に土地柄懸念された淺草大勝館も打込百五十人といふ久々の盛況、東京における封切洋畫として最近でのヒツトを豫想される

サボテン

扇芳會館でも純情型で知られてゐた河村春子さんが突然先月の二十五日のお給料を貰つたら辭めて仕舞ひました▼太分アチコチでファンが悲觀してゐる相だが原因が知りたかつたらサボテン子迄聞きに來て下さい充分納得の行く樣敎へてあげます▼それからこれも辭めた口だが精養軒で私結婚したら亭主が捜せるだらうといつてゐたハリキリ洋子さんもつい四、五日前に姿を消して仕舞つた、一説によれば北支に行つたとか、どこかで亭主が捜せてゐるかも知れぬて…

雜音

東京ではアトラクシヨンの全盛時代とある▼フイルムの缺乏が主な原因となつてゐるわけだが、一般の嗜好にもぴつたり來る所があるに違ひない▼滿洲でも、これを地元で生産することを考へたらどうであらう、さうすればフイルムの貧困感も相當に救はれやうが▼例へるに餘り適切でもないが「七巧圖」に主題歌みたいなものがある、しかし映畫の進行中に二度ほど出て來るだけでは一般に普及しひろく親しまれる筈もない、アトラクシヨン―手近かな道であらう

日曜 戊辰 赤口 閉 虚宿 舊五月八日 六月五日
東京・本郷・神誠館

●一白の人 常時には別段憂ひは無けれども新事業は凶 乙と庚と亥が吉
●二黑の人 心を陽氣に持てば運氣も引き立ち來るべし 丙と申と庚が吉
●三碧の人 徳を磨き行ひを正し律義一方に出づべき日 甲と乙と丁が吉
●四緑の人 先走りをせず心を落付け妄想を去るが宜し 甲と乙と丁が吉
●五黄の人 人と競爭するときは結果は失敗に終るべし 丁と坤と艮が吉
●六白の人 運氣未だ十分ならざれども勵めば功ある日 辛と壬と子が吉
●七赤の人 口を愼めば大抵の事は成就すべき吉日なり 庚と癸と艮が吉
●八白の人 意地を張ることなく運きを苦にせず勵げめ 丙と申と辛が吉
●九紫の人 運氣壯んなる様に見へても不時の失敗あり 巽と巳と丁が吉

發芽後の雨天續きで 農作病虫害豫想

產業部から發生狀況を調査

今年は農作物發芽後、雨天が續き陰濕冷涼な氣候は病蟲害の發生に好條件をあたえ既に南滿各地ではその被害が相當甚大の模樣であり、今後各地にても病蟲害の大發生が懸念されるので、產業部ではこれが豫防驅除の徹底を期し農產物の增殖計畫の完全遂行を期するため、四日各省長に訓令を發し各省管下の病蟲害の發生狀況を本部に報告せしめることゝなつた

北支鐵道の線名、驛名合理化

北支各鐵道の線名及び驛名は兎角統一を欠き不便の點が多いので近く合理的に改正される事になつたが改正要點は

一、驛名はもちろん原則として支那事變前の舊鐵道で使用してゐた驛名に依ることゝするが從來驛名の終りにつけられてゐた縣、鎭、村等は特に必要なもの以外は取除き一都市に二驛以上（北京は除く）ある場合は共通驛名に方角を附けかへその驛名とする

一、線名は幹線は原則的に始發終端兩驛名を組合せ枝線は各枝線の終端驛名を用ひる事とする即ちこの結果驛名に就ては例へば天津東站は天津と天津西站は西天津とそれ〴〵改名され線名は幹線は殆んど從來と變化なくたゞ京綏線と改名され北寧線が京山線と改名される程度であるが枝線關係で改名されるものは非常に多く近く關係筋の認可を得て實施される筈である

總局で自動車運賃引下を企圖

全滿資源開發に重大役割をなす自動車路線網の擴張に伴ひ總局自動車科ではこれが運賃の改正を着々實施しつゝあるが自動車運賃は鐵道のそれと異り各區間によつて相違するので急速なる一本建の運賃の實現は不可能視されるも大體現行運賃平均乘客一人一粁當り五錢、貨物一キロトン一粁當り五十錢を乘客二割（一錢）貨物五割（二十五錢）方の引下げを目標として、輸送力の充實產業の開發並びに奥地馬車との連絡等を考慮の上今秋迄には全線に亘り新運賃を實施するものと見られる

華人紡績廠設立の新計畫進む

【大阪國通】大阪市產業部への入報によれば支那における華人紡績廠は江蘇、山東、河北の各省に集中されてをり事變後は殆んど休業のやむなきに至つたので、支那綿業者は最近河南、四川、雲南の西南地方に新たに左の紡績廠を設立すべく計畫が進められてゐると

衛中紡績公司（河南、資本金三百五十萬元河南省建設廳、上海實業銀行會の共同出資）

嘉陵紡績廠（重慶、資本金三百五十萬元、金城銀行民業、實業公司合辦）

雲南紡績廠（昆明、資本金八十萬元、雲南省政府ならびに雲南建設公司合辦）

小麥粉の値上りて 代用食は高粱、大豆

大陸科學院で折紙をつける

三日新京に於ける小麥粉相場は極上品の双仙牌で一袋（四〇斤入）五圓七十錢を示し、昨年同期に比べると約一圓五十錢からの値上りだ、政府では天井知らずの小麥粉暴騰に備へて輸入禁止を緩和するやら標準價格を公定するやら騰勢防止に躍起となつてゐるが米の飯を食つてゐる日本人ならいざ知らず、小麥粉の高騰で一番腹にこたへるのは小麥を主食にしてゐる滿系家庭でこれは重大なお臺所脅威となつてゐる、かうなると必然的に代用食品といふことが考へられて來るが三日大陸科學院でこの代用食品について「どんなものが最も效果的か」と訊ねてみると大豆と高粱の效用增進が最も合理的な代用食品として役立つだらうといふ話、尤も效用增進といつても大豆や高粱をすぐ食物の代用として用ひる意味ではなくこれ等の加工殘品を使つて小麥粉の一部に代用せしめるといふのである、即ち科學院當局では

大豆や高粱からアルコールを搾取して、そのあとに出來た殘食物この乾燥粉末を小麥粉に混用すれば小麥粉の節約も充分出來るし、代用食品として味覺や榮養價の點でも小麥粉に較べて遜色がない

と折紙をつけた、なほ同院では

經濟と榮養の兩立する合理的な食料を今後大いに研究して政府當局に建言したい

と語つてゐる

錦州郵政振替部 七月一日より開始

郵政局では去る五月一日郵政振替の取扱局大擴張を行つたが、今般又錦州郵政管理局內に郵政振替部を增設し錦州省熱河省方面の利用者に利便を與ふべく準備中の處愈々來る七月一日より國內及び滿日振替の口座所管廳事務取扱を開始することゝなつた、之により郵政振替の口座所管廳は新京、奉天、哈爾濱、錦州の四箇所となつたわけである

北支土建協會創立

北支土建事業は從來無統制狀態にあつたが業者を打つて一丸とする北支土建協會設立が早くから叫ばれてゐたところ、一日附をもつて北京總領事の許可を受け正式創立の運びとなつた、同協會メンバーは內地側六、滿洲側三、計九の業者より成り當初の十四業者、五車輛業者の參加メンバーよりは著しく縮小されたが、本部を北京に、支部を天津、張家口、大同、石家莊、濟南、青島の重要各地に置いて積極的に建設事業を進める筈で近く臨時總會を開催、役職員の正式決定を見る筈である

東商會頭門野重九郎氏辭任

【東京國通】病氣靜養中の東京商工會議所會頭門野重九郎氏は此程病苦重責を果し得ずとなし遂に辭任を決意し、この旨東商顧問たる郷誠之助男に對し申出るところあつた、よつて同顧問は門野氏の意向を諒とし直ちに池田、結城兩顧問と後任會頭につき愼重銓衡中で近く實現をみる運びとなつたが目下のところ後任會頭には郵船社長大谷登氏、東商顧問松本蒸治氏、東邦電力社長松永安左衛門氏、日清紡績社長宮嶋清次郎氏、日鐵常務澁澤正雄氏の諸氏が有力視されて居り特に大谷氏の呼び聲が高い、なほ中野、岩崎兩副會頭も後任會頭の決定を待つて同時に辭任することに決意してゐるので東商最高首腦部の陣容は茲に一新せられるわけである

統計事務を統一

政府はさきに國務院統計事務規定を公布し（一）各部大臣をしてこの主管事務に關する統計報告を國務總理大臣に提出せしめること（二）之がため各部に統計主任をおいて總務廳統計處長との緊密なる連絡下にその所管事項に關する統計の統一編成及び報告に關する事務を掌らしめることゝしたので產業部では本規定に基き四日付をもつて「產業部統計事務規定」を制定、資料科長を產業部統計主任に任命し、官房各司及び所屬各機關に統計主務をおき部內統計事務の統一とその完備を期することゝなつた

滿洲空陸旅客及び荷物連帶運送規定（六）

第二十二條 割引旅客運賃の計算方

旅客運賃の割引を爲す場合は割引率を同じくする運輸機關毎に其の併算額に付割引を爲し錢未滿の端數は切捨て之を併算す

第二十三條 公務旅客に對する運賃割引

公務を以て旅行する日本帝國陸海軍軍人、軍屬及警察官吏並滿洲帝國陸海軍軍人、軍屬、警察官吏に對しては所定の割引證を收受し左の運賃の割引を爲す但し其の航路に於ては日本帝國陸海軍軍人、軍屬に限り又大連航路に於ては日本帝國陸海軍軍人、軍屬、警察官吏に限り運賃割引の取扱を爲す

會社所管線及局線　各等　五割

省線（省航路を除く）　一等　五割　二等　四割

豪鐵線　陸海軍軍人、軍屬　各等　五割

　　　　警察官吏　各等　三割

航路　各等　二割

註一 航空區間は公務旅客に對し運賃割引の取扱を爲さず

註二 公務旅客の範圍に付ては連帶客荷規則第二十二條第三號註一、註二參照

第二十四條 特殊補充券、追徵切符の發行

旅客運賃の追徵又は一部拂戻を爲す場合及加算金を收受する場合に於ては會社所管線、局線、滿洲航空會社線、國通公司線に在りては特殊補充券、省線、豪鐵線航路、日本空輸會社線に在りては追徵切符を發行す

前項の特殊補充券及追徵切符は乘車券に代用す但し乘車券を紛失したる者に對し發行したるときは乘車券並證明書に、旅行終了驛に於て發行したるときは受領證に代用す

第二十五條 任意旅行中止に因る鐵道、航路運賃の拂戻

旅客が旅行開始後任意に旅行を中止したるときは該券發賣の日より二日以內にして其の不乘車船區間が三百粁以上なる場合に限り當該中止驛に乘車券を還付し既に支拂ひたる鐵道及航路運賃（船室の豫約を爲したる場合の航路運賃の拂戻に付ては第廿六條所定に依る）より既乘車船區間に對する相當旅客運賃を控除したる殘額の拂戻を請求することを得

前項の條件を具備せざる場合に在りても旅客の發著區間が滿洲と內地朝鮮又は臺灣との間に跨るものにして乘車券の通用期間內なるときに限り旅行中止驛所屬鐵道、航路は全部乘車したるものと看做し前項に準じ拂戻を爲すことを得

註 旅客の發著區間が北支と內地又は臺灣とに跨る場合に在りては本條第二項に準じ之が取扱を爲す

第二十六條 航空及航路運賃拂戻

旅客が任意に旅行を見合せ又は中止し若は客荷規則第百四十四條第一項に掲ぐる事由に因り航空機又は航路に不乘の場合は左に依り旅客運賃の拂戻を爲す

一、航空機に不乘の場合

乘車日及航空便を指定せざる場合に在りては全額、乘車日及航空便を指定したる場合に在りては當該航空便が乘車券面記載の飛行場を出發する時刻迄に航空會社營業所に到達するよう申出ありたる場合に限り未乘航空運賃の半額の拂戻を爲し其の他の場合に在りては之が拂戻を爲さず

二、航路に不乘の場合

船室の豫約を爲したる場合に於ては當該汽船が乘車券面船車接續地出帆後翌日中迄の間に申出ありたる場合に限り拂戻を爲し其の以後の申出に對しては乘車券通用期間內と雖航路の運賃の拂戻を爲さざるものとす但し基隆航路に在りては出帆後翌日中迄の間に申出でたる場合と雖既收航路運賃の二割五分を航路の收得として收受す

註一 第二十五條第二項の場合と雖航空區間に對しては本條に依り運賃の拂戻を爲すものとす

註二 客荷規則第百四十四條に依り乘車券の通用期間の延長の取扱を爲す場合に於て航空便の變更を要するもの其の指定の引受を爲し得ざる場合は之が取扱を爲さず

商況欄 四日前場

海外經濟電報

品目	相場
倫敦金塊	七磅〇志二片〇〇
紐育金塊	三五弗〇〇〇
倫敦銀塊	一九片六分一
同先限	一八片四分三
紐育銀塊	四二仙四分三
孟買銀塊	四四留比六分五

▲紐育株式

品目	相場
スチール株	四〇弗四分一
アナゴンダ株	二二弗四分三

▲市俄古小麥

限月	相場
七月限	七〇仙四分一
九月限	七一仙二分一
十二月限	七二仙八分七

▲紐育棉花

限月	相場
現物	八仙〇三
七月限	八仙〇三

▲印棉

限月	相場
十月限	八仙〇六
十二月限	八仙〇九
一月限	八仙一〇
三月限	八仙一四
五月限	八仙一九

カルカッタ麻袋

品目	相場
ブローチ	一四四留比八分一
オームラ	一二六留比八分七
ベンゴール	一五六留比四分三
青筋	二一留比四分一
鐵筋	一九留比四分一

外國爲替

品目	相場
米英爲替	四弗九四仙一六分一五
米日爲替	二八弗八七仙
米支爲替	二一弗六二仙
英日爲替	一志二片〇〇〇
英支爲替	十片二分一
英佛爲替	一七八法郎二五
印日爲替	七九留比〇〇〇

▲滿洲中銀爲替

品目	相場
紐育向	二八弗八分七
倫敦向	一志二片〇〇〇

阪神爲替

品目	相場
對米賣	二八弗八分七
對米買	二八弗三三分元
對英賣	一志二片〇〇〇
對英買	一志二片六四分一

各地株式市況

▲東京株式（短期）

銘柄	寄付	大引
新東	一四七六〇	一四八六〇
大新	八一三〇	八二三〇
鐘紡	一三九八〇	一三七一〇
帝新	一〇七六〇	一〇七四〇
洋新	八六一〇	八六五〇
日新	五九一〇	五九〇〇
郵船	六六二〇	六五九〇
同新	四九七〇	四九五〇
日石	七四六〇	七四六〇
日立	一〇一二〇	一一〇七〇
滿業	七八六〇	七九〇〇
電工	六九八〇	六九九〇
東電	五〇二〇	五二七〇
日肥	ー	ー
服新	七七二〇	七七三〇
滿鐵	五七一〇	五七一〇
糖新	七二九〇	七二五〇
日曹	七三五〇	七三五〇

▲大阪株式（短期）

銘柄	寄付	大引
大新	八二〇〇	八一九〇
新東	一四八一〇	一四八二〇
鐘新	一三九七〇	一三九九〇
滿業	七八六〇	七八七〇
日曹	六二一〇	六二三〇

▲大連株式（短期）

銘柄	寄付	大引
五品	一五二〇	ー
東新	一四七二〇	ー
滿業	七八七〇	ー
同新	ー	ー
鐘新	一四九〇〇	ー
同鐵	五七一〇	ー
滿新	ー	ー
土木	一一七〇	ー
豆新	一六六〇	ー

各地商品市況

▲大阪綿糸

限月	寄付	大引
六月限	二〇六五〇	二〇六五〇
七月限	一九六九〇	ー
八月限	一九四〇〇	ー
九月限	二〇三〇〇	ー
十月限	二〇〇八〇	ー
十一月限	二〇〇一〇	ー
十二月限	二〇一八〇	ー

▲大阪棉花

限月	寄付	大引
六月限	四九七五	ー
七月限	五〇〇〇	ー
八月限	五〇二五	ー
九月限	五一〇〇	ー
十月限	五一一五	ー
十一月限	五二二〇	五二二五
十二月限	五二六〇	五二九〇

▲大阪人絹

限月	寄付	大引
當限	八二〇	八二四〇
先限	八四四〇	八五二〇

▲大阪期米

限月	寄付	大引
當限	三三九一	三三五〇
中限	三五〇四	三五一四
先限	三五〇四	三五一六

▲橫濱生糸

限月	寄付	大引
現物	六八五	ー
當限	六六五	ー
先限	六八二	ー

各地特產市況

▲新京

品目	寄	引	出來
先物●大豆 六月限	七、一六	六、八五	八〇車
七月限	ー	ー	
●高粱 六月限	ー	ー	

▲大連

品目	寄付	大引
七月限	ー	ー
現物大豆	ー	ー
高粱	ー	ー
小豆	ー	ー
玉蜀黍	ー	ー
●大豆 袋入	七七八	七七三
六月限	七七三	七七三
七月限	八二〇	七七三
八月限	八三六	七八二
九月限	八四二	七九九
十月限	七九四	七九九
三等豆	ー	ー
●豆粕 現物	三三四〇	三三四〇
六月限	三三一〇	三三七〇
七月限	三三三〇	三三六〇
八月限	三三四〇	三三七〇
九月限	ー	ー
十月限	ー	ー
●豆油 現物	ー	ー
六月限	一九三〇	一八六〇
七月限	一九四〇	一八八〇
八月限	一九三〇	一九三〇
九月限	一九三〇	一九三〇
十月限	二〇二〇	一九三〇

戰時小說 敵前銃後

山岡弘 作　木原芳樹 畫（禁無斷轉載上演）

（三十六）壯烈散華（六）

『軍人ばかりぢやない、警官だつて日本人は、そんなに職務に忠實なんだ、分署を死守して壯烈な戰死を遂げた警官が七人もあつたのか、私は、實は日本の軍人や警官は何をしてゐるのか、通州を捨てゝ逃げて了つたのか、それで私達があんな暴虐な目にあはされるのかと、最初は思はないではなかつたんだが、そんな事を思つちや罰が當る。あゝ實に私は、さうして壯烈な戰死を遂げた人達に對して、斯うして逃げ延びて來たのが面目ない、私も死ぬんだつた、殺されるんだつた！』

さ、汐見はさういふ風にして聞いてゐなかつた。そして靜かに、低い聲で、さう述懷した。

だが、靜子は――汐見と同樣に一旦昂奮からさめてゐた。

靜子は、異常に緊張して、杉浦の顏をみつめて、一語も聞きもらすまいとするやうに杉浦の話しを聞いてゐた。それもその筈だつた。

『汐見さん、只今のお話しの警察官七人の戰死を、貴方は何もお氣付きなく聞いておゐでのやうでしたが、その七人の中の一人が、私の良人半田（假名）巡査です』

『あ、さうですか、貴女はその中の警官の奥さんでしたか……』

さ杉浦は驚いた。

『あゝ、さうでしたネ、貴女は領事館警察署員の奥さんでしたつけ、貴女の御主人は、立派な、壯烈な、日本人さして實に美事な戰死をなすつたのでした！』

さ、汐見はそれだけ云つて默つて了つた。

『良人はさうして壯烈な戰死をして與れました、名譽に思つてゐます、妻として私は愚痴をこぼすやうなことを申してはなりません、ですが私は生きてゐることが口惜う御座います！』

さ、聲を落して、聞えるか聞えぬかに呟く靜子である。

それから、杉浦は又暫く北平の昨日今日の狀勢などを話して、やがて歸つて行つた。

だが、自分達が今救護されてゐる北平でありながら、そして其處に又支那軍が押し寄せでもしたら、どんなことに自分達の運命が急轉しないとも計られぬのだが、然し其の北平に於ける日支兩軍の形勢がどんなであらうとも、そんな話しは、汐見の頭腦にも、靜子の頭腦にも少しも入らなかつた。

二人の頭腦は、通州の事ばかりで一杯だつた。杉浦の話を聞いてから一層通州のこと以外は、二人には何も考へられなかつた。考へる餘裕がなかつた。

『汐見さん、貴方はこれから鹿兒島へお引揚げなさいますでせうね』

さ靜子が、暫くしてから汐見に訊ねた。

『さア……貴女は？』

『私は、故鄉へ歸ることはやめやうと思ひます』

『そうして、何うなさる？』

『私は、尼にでもなつて、良人と子供二人の冥福を祈るの、が、生殘つた私として一番いゝ事のやうにも思ひましたが私はそんなことは致しますん、尼になぞはならないつもりです』

『さうですとも、尼なぞになつたつて仕樣がない！尼なぞになることは私も飽り贊成しませんよ』

『それで、私の行くべき道について、私は今、決心がつきました、私は本當に、しつかりと、いゝ決心が出來ました……』

『で、その決心といふのは？』

『私は鄉里へも歸りませんし、尼にもなりませんし、生殘つた殘念さをクヨ〳〵思ふことも、もう致しません。私は寧ろ支那語が達者に話せます、私は此地に踏み止まつて、支那婦人になりすまして、日本軍の爲めに、私は生命をかけて、死を決して、支那人の中へ入り込んで、きつさ、きつさ、大きな働きをしやうさ、して見せやうと、決心しました！』

大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓五拾錢（郵税共）
廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三二〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

御一ヶ月に亘り第一線を御視察
秩父宮殿下四日福岡御着

【福岡國通】秩父宮殿下には去る五月四日御附武官小池中佐、山口少佐を從へさせられ飛行機にて福岡御出發、同夕刻上海に御到着後或は急造の御召列車で或は飛行機に召されて硝煙の臭漂ふ中支、北支の第一線を親しく御視察、皇軍將兵を犒はせられ、御憩ひの御暇もあらせられず十八日北京御發張家口を經て滿洲に向はせられた、殿下には昭和十年天皇陛下御名代として滿洲國を御訪問遊ばされてこの度は四年目の御渡滿のことゝて殊のほか御親しみも深く、かくて重要地點を御視察遊ばされ、四日飛行機にて奉天を御出發、同日午後一時卅四分御出發以來一ヶ月にわたる長期の御視察の旅を御恙なく終へさせられ、御機嫌麗はしく福岡雁の巣飛行場に御歸着遊ばされた

小池御附武官謹話

【福岡國通】秩父宮殿下におかせられては去る五月二日東京御發、中支、北支の戰蹟を御巡視遊ばされ、次で滿洲各地における軍狀並に産業、交通、移民、教育等について御視察遊ばされ六月四日長途御多忙な御旅行にも拘らせられず、些の御疲れもなく福岡着御歸國遊ばされたが、右御視察の御模様につき小池御附武官は左の如く謹話を發表した

□

大本營幕僚の要職に在らせられる秩父宮雍仁親王殿下には豫て支那事變地及滿蘇國境方面の御視察を思召されましたが、御要務御多端の爲御延期中の處今次徐州會戰の機に之を御實施遊ばされました

殿下

には去る五月二日東京御發、先づ中支那方面に赴かせられました、上海より南京、蚌埠、蕪湖、杭州方面を御巡視遊ばされ、此間クリークを利用する敵網狀陣地帶に對する上海上陸軍の突破作戰、杭州灣上陸軍の戰略奇襲作戰、首都南京に於ける潰滅戰、海軍陸戰隊の閘北攻略戰等各戰蹟を御視察遊ばされました、特に蚌埠御滯在當時は徐州會戰の初動を律する重要時期に方り、殿下には親しく〇〇戰鬪司令所に成らせられ畑最高指揮官と御會見遊ばされました

越えて五月十日北支那方面に御移動遊ばされ、昨夏以來屢次に亘り河北の大平地と山西の山嶽地とに敵を枯葉席卷しました潑剌たる機動戰の戰蹟を津浦線方面、京漢線方面、山西方面の順序に御巡視遊ばされました、この頃徐州會戰は漸く酣にして決戰時期に入り殿下には兗州に成らせられ更に御南下滕縣、濟寧方面に力戰奮鬪するわが戰線を近く御視察遊ばされ又濟南に於ては第一線に御出動御途次の閑院宮殿下と、北京に於ては寺内最高指揮官と御會見遊ばされました

次で五月十八日銀翼を殘雪に輝く蒙疆地方に進めさせられ張家口、大同、綏遠より遠く包頭、百靈廟方面沙漠に守る皇軍の第一線を御視察遊ばされ、多倫を經て五月二十日滿洲に御入り遊ばされました

滿洲に於ては滿蘇國境方面を約十日間に亘り御巡視遊ばされました、東正面に於ては山地森林湖沼の錯雜する地區を東寧より虎林に、北正面に於ては黑龍江に沿ふ地區を奇克特より黑河に、西正面に於ては廣漠千里に綿亙する地區を奈勒穆圖より滿洲里を經てシューテン廟に御行動遊ばされ諸般の軍狀に就き御綿密に御視察遊ばされました、殿下には

軍狀

の外産業、交通、移民、教育等の諸政策就中滿洲における民族協和の具現に關しても深く御心を留めさせ給ひ、上海、北京、新京其他現地において各主任者を召されて實況を御聽取遊ばされ特に滿洲に於ては千振移民團、孫呉青年義勇隊、新京大同學院、同建國大學、奉天滿軍中央訓練處、鞍山昭和製鋼所等を親しく御視察遊ばされました

又事變の爲の貴き犧牲者に對しては厚く御同情を垂れさせ給ひ、御軍務御繁忙中にも拘らせられず各地忠靈塔に御自拜遊ばされ、僻地の軍病院にも親しく傷病兵を御見舞の上屢々一兵に至る迄御慰問の御言葉を賜はりました、尚戰地に勤務する舊御部下將兵に對しても機會ある毎に御慰問御激勵遊ばされました

終りに特に申上げますのは、殿下には新京御着後五月廿一日先づ滿洲國皇帝陛下を御訪問遊ばされ、ついで國境御視察の後六月一日重ねて皇帝陛下と親しく御歡談遊ばされ、滿洲國皇室との御親交愈よ御醇厚なるを拜し奉りました、又今次御視察卅餘日、鵬程一萬七千餘粁に亘る間御體に何等の御支障もあらせられず海外派遣軍の軍狀を具さに御視察遊ばされたると共に外地に勤務する皇軍將兵に無上の光榮と御激勵とを賜はり本夕御機嫌御麗しく御歸京遊ばされましたことは寔に畏くも有難き極みに存じます

尚殿下には非常時局下における滿洲國の安定せる現況について、いと御滿悦の趣に拜せられ、殊に民族協和の具現に關しては御關心深く日滿軍の關係は勿論特に移民と原住民との移住地整理等に關聯せる民族融和の狀態、各民族の登用、給與及び待遇の改善、文教の刷新等に至るまでいちいち深く御心を留めさせられ、これ等に關し各方面において種々御下問ありしやに洩れ承り當事者は痛く感激感泣した趣である

東京御歸還

【東京國通】秩父宮殿下には四日午後六時三分無事羽田飛行場に御着、御少憩の後宮家御差廻しの自動車で赤坂表町の御殿に御歸還あらせられた

皇后陛下 外地陸軍病院へ 三宮妃御差遣

【東京國通】忠勇なる傷病將兵の上を思召され畏くも皇后陛下には曩に全國の陸軍病院に各宮妃殿下を御差遣あらせられたがこの度更に朝鮮、臺灣及び關東州の各地にも御同様御仁慈を及ぼさせ給ふ思召にて朝鮮には竹田宮大妃殿下、臺灣には東久邇宮妃殿下、關東州には梨本宮妃殿下を御差遣遊ばされる旨四日御沙汰あらせられた

歐亞二大ブロック 愈よ緊密化加ふ
日滿伊通商協定の効果

日滿伊三國通商協定はイタリー經濟使節團が滿洲訪問後再度東上し、廿日か二十五日頃には東京において調印をみる運びとなつてゐる、九日新京に於て調印される滿伊修好通商航海條約は同協定を成立せしめる滿伊間の基礎的條約であるが、この貿易協定の締結は日滿伊の最近の政治的提携を更に緊密ならしめることは勿論である、同協定の内容として傳へられるところでは日滿對伊を一對一とするバーター制によつて貿易體制を確立するにあり、その貿易金額は三千萬圓といはれる、しかして日本ならびに滿洲國の對外貿易からみれば三千萬圓程度の貿易は全貿易にさしたる影響を及ぼさないとみて、同協定の實效よりも政治的親善を増進せしむべき精神的效果を強調するものもあるが必ずしもさうでない、今日の如く國際貿易の動向が自國勢力圏内のアウタルキーの強化にある國際新市場の開拓は容易でない

日滿對伊貿易額は年によつて増減の波が激しく、これを現在の貿易額の五倍程度まで増大し安定せしめんとするのである、しかも日滿側からの輸出品目は大豆、蘇子油をはじめ滿洲特産物が主たるもので滿洲大豆の新市場開拓ともいへる、滿洲大豆の對伊輸出は一九二八年の十一萬五千噸を最高とし昨年度は僅かに八千七百噸に過ぎなかつた、イタリーは殆んど油脂原料、飼料を海外に仰いでゐるので滿洲大豆の恒久的市場と化する可能性は極めて大である、またこの通商關係の調整は日滿北支を含む圓ブロックとイタリー及びそのアフリカにおける植民地を含む歐亞二大ブロック間の有無相通ずることゝなり、從來貿易が少なかつただけに新商品で双方より必要とするものも現はれてくるであらう、かく觀じ來ると國際收支の逼迫せる兩國が爲替關係を考慮する事なく兩國間の交易を盛んにするに於ては三千萬圓の協定額を更に増大せしめることも可能であらう

板垣征四郎中將（現陸相）前線視察（陸軍省許可濟）

總理の招宴へ

張國務總理大臣は滯京中のイタリー經濟使節團一行を主賓とし在京日滿官民有志をヤマトホテルに招じ四日歡迎晩餐會を催した、午後八時宴は和氣靄々裡に進められデザートコースに入るや張總理起つて滿伊兩國の親善關係を強化する經濟提携の使命を帶びる經濟使節團を迎へたことは滿洲國にとつて欣快に堪へぬと歡迎の辭を述ぶればコンチイ團長起つて貴國の盛大なる歡迎を受けて感謝に堪へないと互ひに盃をあげて兩國の前途を祝福し同九時半和かな親善風景のうちに散會した（寫眞は宴會場）

三日目の日程

伊太利經濟使節團滯京第三日の日程は正午國務總理大臣官邸の對伊經濟委員會主催の招宴に臨み引續き懇談に移り午後七時より中銀倶樂部に於ける中銀主催の招宴に臨むことになつてゐる

英人との誤解事件解決

【北京四日發國通】支那軍の不法行爲の中に異常な困難を冒して各地在留外人の權益保護に努めてゐる皇軍の正しい態度が言葉の通じないところから誤解される、去る二月二十日及び三月十二日滄州城内の日本軍歩哨が通行の宣教師に對して會釋を要求したところから「英國人は日本軍に對して挨拶をする義務を有するや」との質問が英國下院においてなされ、わが外務當局から適當な回答があり一應解決してゐたところ、去る四月七日北京西陽門驛で英國二通行人が歩哨の制止を聞かず暴力を以て門を通行したため爭を起した事件が發生、その後日英兩國大使館當局間で折衝中だつたが、この程グリンウエル一等書記官との間に諒解成立事件は圓滿解決した

皇軍南北呼應し猛攻
敵二十萬板挾み

【北京四日發國通】陳留口、三義寨東部隴海線北側の要點を占據二十萬に餘る敵大軍と對峙、逆襲の敵部隊に猛攻撃を加へ戰果を擴張しつゝあつた〇〇部隊は、二日朝來當面の敵軍に一齊進撃を開始、西方及び南方に向つて顯著なる進出を敢行、敵第一線は雪崩を打つて崩れはじめ、三日未明より敵第一線は續々退却を開始した

一方歸德、寧陵を攻略、南北相呼應し追進中の各部隊は、三日既に〇〇南方〇〇の要地を繋ぐ線に進出、敵大軍に鐵槌を下さんとしてゐる

かくて南北相呼應してのわが軍の目覺ましき進撃により敵二十萬の兵力は〇〇附近の狹小なる地域に板挾みとならんとしてゐる

支那軍の負惜み
隴海線は放棄南方で抵抗と

【香港四日發國通】漢口來電によれば、四日午前國民政府スポークスマンはロイテル通信員に對し

支那側は河南平原に於て日本軍と決戰する事は優秀な日本軍の機械化部隊に有利であるだけで支那軍にとつては徹底的不利を齎すものである、よつて支那軍は漸次隴海線を放棄し南方に於て抵抗を試みる方針である しかし隴海線における決戰は回避するとしてもなほあらゆる手段を以て頑強に抵抗し日本をして一寸の土地を得るとしても高價なる犧牲を拂はしめるであらう

と語り、暗に河南平原の隴海線で日本軍と決戰を交ゆる意思なきことを明かにした

總裁公選 四日決定 政友代行委員會

【東京國通】政友會總裁問題協議の第五次代行委員會は四日午後芝三緣亭で開かれ、前日に引續き討議を重ねた結果つひに公選によつて決定することに意見の一致を見これが具體的方法として

一、黨則第二條に基く黨の大會を開くこと
一、大會期間は黨執行機關によつて決定すること

を決定した

人事往來

◆油井得藏氏（福島商工會議所會頭）四日來京國都ホテル
◆細谷稚雄氏（關東高女校長）同
◆眞武知生氏（日滿法律局）同中央ホテル
◆中井隆太郎氏（大倉商事）同
◆福田廣之氏（朝鮮總督府官吏）同
◆津田鐵外喜氏（遞信省官吏）同
◆川畑感治氏（官吏）同

海上ゲリラ殲滅
黃海沖の武裝戎克
＝艦隊報道部發表＝

【上海四日發國通】艦隊報道部四日午前十一時發表

一、昨三日海軍航空隊は浦城、建甌、長汀、龍巖の各飛行場を襲撃し飛行場および附屬施設を爆破せり

一、黃海沖において支那沿岸の交通遮斷に從事中の帝國海軍艦艇は六隻の砲および小銃をもつて武裝、防禦鐵板をもつて充分なる防禦をなせる大型戎克の攻撃を受け直ちに反撃、航空機支援の下にこれら三隻を燒却、一隻を爆撃大破せしめたり

一、帝國海軍艦艇は支那沿岸交通遮斷に當り良民の生業に對しては好意的態度を持し來りたるは數次の聲明により世人の認むるところなり、最近廣東方面において海上ゲリラ戰を始め武裝戎克を以てする攻撃あり、帝國海軍艦艇はこれらに對しては斷乎潰滅するの實力を常に保有す

各地占領相踵ぐ

柳河集

【北京四日發國通】わが新鋭〇〇部隊は二日柳河集（蘭封—歸德間東南方隴海線）において第七十四師に屬する砲十數門を有する約五千の敵を攻撃、三日これを撃破し同日午後柳河集を占領、敵はこの戰鬪で約四百の死體を殘して大打撃を被り敗走した

杷縣

【北京四日發國通】去る五月廿七日歸德南方地區の敵を猛撃して敗走する敵を急追し寧陵、睢縣を一瀉千里に陷れ西方に敵を壓迫したわが〇〇部隊は、一日杷縣に肉薄し頑強なる陣地に據つて抵抗する敵を攻撃中であつたが、同日朝わが軍の一部は城の一角を占領日章旗を飜へした、引續き城内外の敵を掃蕩中のところ多大の戰果を收めて遂に三日完全に同城を占領した

鳳台

【上海四日發國通】上海軍四日午後四時半發表

徐州會戰に引續き淮北地區に殘敵掃蕩を完了し、更に淮河の線を越えて西南に進撃中なりし〇〇兵團は、頑強なる抵抗を撃破し四日午前八時廿分つひに鳳臺（懷遠西南方百キロ）を占領し續いて敗敵を西南方に追撃中にして、また〇〇兵團は三日夕刻壽縣（鳳陽西南方）東北地區に肉薄中なり

杷縣西方

【亳縣四日發國通】隴海線南側を西進する〇〇部隊は三日午前五時半杷縣西方の〇〇を占領、その一部は更に西方地區に進出した

柘城

【亳縣四日發國通】〇〇部隊は連日の豪雨のため泥濘と化した惡路をものともせず西進を續け三日午後五時亳縣西北方十二里の柘城を攻略した

敵將猛攻に狼狽

【亳縣四日發國通】〇〇隊は三日鹿邑の西南方八キロの地點で敵の遺棄せるトラック二臺を鹵獲したが、このトラックの中にはガスマスク、通信機材が滿載してある外、六十八軍第百四十三師長陸軍中將李曾志の軍服が脱ぎ捨てられてあつた、わが〇〇部隊の猛攻撃に鹿邑を放棄した李師長は慌てふためいて軍服を捨て百姓姿に身をやつして脱れたものと見られる

偶語

歐洲の航空事業を見て歸つた者は口を揃へて飛行機の發達は空の保安裝置の完璧にあると云ふ▼最近の歐洲の商業航空は地上の交通機關と少しも變らぬ程發達し旅客と郵便乃至貨物をはつきりと分けてあり旅客は晝間郵便貨物は殆んど夜間飛行であり中には馬匹の如きも樂々と空輸してゐる▼したがつて飛行場は晝夜の別なく數分置きに飛行機が離着陸してゐるのであるが如何なる惡天候にも深夜にも些かの故障も不安も感じてゐないのである▼それは飛行機の性能が特別に秀れてゐるのでもなく操縦者が飛び拔けて技倆があるのではなく所謂空中保安裝置が完備してゐるからである▼歐洲の空を飛んだ操縦士が日本の飛行場なり地上施設を見てよくも故障を起さないものだと不思議がるのも無理はない▼航空會社が如何に優秀なる飛行機を整へても空中保安裝置を忘れてゐたのでは日滿定期航空が缺航するのはあたりまへのことだ▼航空事業は會社だけで發達するものではない先づ國家が飛行機が自由に飛べるやうな施設をなすことが先決問題である

社說　諸外國の對支援助

すでに徐州が陷落し、國民政府は愈よ沒落へ追ひ詰められつゝあるが、列國の蔣政權に對する策動はなほ持續されてゐるやうである。

近時注目されたニュースを拾つても、佛蘭西が廣西省から佛領印度支那國境に通ずる鐵道の敷設權を獲得したといふのがあり、またソ聯は實質的に新疆を獲得するに至つたといふのがある。また英國は海關問題等において日本に對し或る程度の讓歩を示すかの如き態度を見せながら、依然蔣政權との緊密なる關係を保持し、機あらば日支の間に介在して自國に有利な立場を確保しやうと待ち構へてゐるかの如くである。

支那は例の以夷制夷を以て得意の策とするのであり、そして歐米諸列國は支那において自己の權益を得、利潤をあげることを主たる目的とするのである。だからこの兩者は支那國民政府が落ち目に陷れば陷る程、うまく結び合ふ道理である。曾つて支那國民政府が着々としてその國內統一事業を進めつゝあつた頃には、列國は支那から一歩數歩退却し、前に有してゐた權益を縮少し放棄せざるを得なかつたもとよりそれは列國の本心から望むところではなかつた。彼等は退きつゝ、機會あらばまた進出する事は企圖してゐたのである。そしてそれは從前とは行き方を變へ、國民政府と相結び、自國以外の國を排斥するといふ方法で或る程度實現されつゝはあつた。だが國民政府が極めて困難な立場に追ひ込まれてゐる現在こそは、列國が對支侵略を再現するのには最も好都合な機會である。國民政府は今ならば平常においては到底豫想されぬやうな好條件をも列國に提供するに相違ない。外國からの援助をそれほどに差し迫つて彼等は欲してゐるのである

だが、われ／＼は列國のかゝる對支援助が結局においてはいかなる結果を招來するかについて一定の見透しを持つことが出來る。この事を察し得ぬ列國は、つひには思はざる不幸をも期待に反して招かざるを得ないであらう。この意味において、われらは獨逸がその從來支那に派した武官を引き揚げしめ、また對支武器輸出を嚴禁するの態度に出てゐることが爾餘の諸國とあざやかに對蹠的な意思表示となつてゐることを注目すべき事實として指摘せざるを得ない。獨逸こそは賢明に東亞の新事態とその今後の動向に對して正しい洞察を持つたものだと言はるべきであらう。われらは爾餘の諸國にも警告して、彼等が速かに對支援助の迷蒙より醒めんことを望まざるを得ない。然らざれば、彼等の行方にはつひに已むを得ざる鐵槌が下されざるを得ないであらうからである。

朝香中將宮殿下へ　御立像を獻上
御慈愛を慕ふ舊部下の赤誠

【東京國通】金枝玉葉の御身をもつて江南戰線に赫々たる御武勳を樹てさせられ御歸還遊ばされた朝香中將宮殿下が戰線において幕僚をはじめ部下將兵達を慈しみ給うた深き御仁慈は今なほ皇軍全將士の齊しく感激するところであるが、この度殿下の御慈愛を仰慕し奉る當時の直部下將校たちから殿下の南京御入城と、部下たりし光榮を永久に記念するために御軍裝を召された殿下のブロンズ製御像を獻上することゝなり、彫刻家横江嘉純氏に委囑して謹製中のところ、二日その原型が完成し今月末までには宮家に獻上の運びになつた

御像は高さ三尺の御立像で御肩にかけさせられる水筒双眼鏡、戰鬪帽も南京御入城をそのまゝに軍刀を御左手につかせられる凛然たる御英姿である

この部下の計畫を御聞き遊ばされた殿下には畏くも横江氏を御殿に御召しになり御繁忙な御時間を御割き遊ばされ、わざ／＼御軍裝を御着用の上御立ち遊ばされた、横江氏は畏くも間近に御姿を拜することが出來た譯で、當の横江氏は勿論舊部下等も近く宮家へ獻上の日を待ちわびてゐる

武漢防衛の前哨　九江一帶の概況
宛かも避難民收容所の感

徐州陷落後蔣介石が恃みとした歸德、開封、鄭州その他隴海線一帶の抵抗戰も我軍の猛攻擊と巧妙なる包圍殲滅作戰のため片つ端から切り崩され他方安徽省南部廬州西方六安及び巢湖西岸地區一帶の支那軍もわが〇〇部隊の進擊を恐れ安慶北方から平漢線南段地區に向け後退を開始せる模樣で、こゝに北方防衛線の總崩れと東方よりする側面的脅威のため抗日本據漢口の危機は一段と迫るに至つた、狼狽した蔣介石は胡宗南、關麟徵、黃光等の直系中央軍を隴海線前線より京漢線南段信陽附近に後退せしめ錢塘江南岸地區よりも萬耀煌の二十五軍を漢口方面へ、王東源の七十三軍を南昌へ、更に吳奇偉麾下軍も同方面に移動中で、その他四川省よりも殘留四川雜軍の狩出しに狂奔し俄かに漢口外廓の防備强化にとりかゝつてゐる、漢口の防空を始めその他の軍事施設が最近驚くべき周到さを以て再强化されてゐること、又去る二十二日漢口における將領會議に於て蔣介石が漢口防備に自信ありと豪語してゐることなど孰れも漢口の不安を物語る反語であり全般的戰局の轉換は獨り國府首腦部のみならず江南、湖北四川等揚子江上流地域一般人民の重大なる軍事的關心を喚び起してゐる、その現れの一つとして最近一部有力支那紙は九江通信として同地の軍事的重要性を强調し「九江は既に江防第一線となりその位置は單に江西省の門戶を掩護するのみならず同時に武漢防衛の障壁となつた、軍事は言ふに及ばずその他各方面より考究するも九江こそ第二期抗戰局面下における最重要地位を占むるものだ」との報道を掲げてゐる、即ち同通信によると支那側は九江下流五十哩揚子江南岸の馬當埠頭附近に於て揚子江の封鎖作業をなし附近水路一帶を以て防禦地帶となし嚴重なる軍事施設を施して居り、その上流地點の要地九江も自然漢口の前衛地帶として軍事的重要性を加へて來たことを示してゐる

□

然らば九江とは如何なる地位にあり事變後の今日如何なる狀態にあるであらうか、九江の位置は江西省の北隅に位し鄱陽湖の水口が揚子江に通じる地點より約十七、八浬上流で揚子江南岸にあつて江西省唯一の北方咽喉を扼すると共に揚子江を距てゝ安徽、湖北兩省に接し水路の便を以て四通八達の交通上の要衝である水路による各地への里程は上海へは四百四十浬、南京まで二百五十浬、わが軍占領地帶蕪湖附近まで百八十浬、南部安徽の門衙安慶まで七十二浬支那側の水都封鎖地點といはれる馬當迄五十浬、鄱陽湖口まで十七浬のそれ／＼上流にあるが、漢口よりは百四十浬武穴よりは廿七浬の下流にあり、また漢口に至るまでの間には武穴上流に長江の險關羈扼の重鎭として史實に知られた田家鎭の懸崖千仭の要害である、九江附近は概ね土地低く濕潤にして附近一帶に河川沼澤多く僅かに南方十哩位にして丘陵地帶の起伏するものを見るがこの一帶が廬山の名峰であり別名牯嶺の避暑地として知られ、外人の居住者多く、夏期は國民政府の中樞地となつて事變前蔣介石が多年抗日計畫の腹案を練り南京と共に幾多の重要抗日指令がこゝから發せられ、また事變直前大學教授の召集等によつて全國的抗日教育の指導方針が授けられたのもこの地である

□

さらに廬山東南方の湖畔には星子軍官學校があるが、事變前迄數年に亘り全國各地軍官青年將校、學生代表等に對し所謂夏期特別軍事訓練がこゝで行はれ蔣介石が自ら抗日軍事の指導に當つたところで廬山と共に近年における抗日の策源地であつた、交通關係としては水路の要衝だけに上海、漢口、武穴、湖口その他揚子江岸各地に汽船の定期連絡をなす外江西省首府南昌へは鄱陽湖畔を涉る航行連絡もあり、鐵道は南潯鐵道即ち九江（別名潯又は德化）より南昌に通ずる約八十哩がわが東亞工業の七百五十萬圓出資により一九一四年開通し江西省の經濟動脈線となつてゐる、市街は城內、城外、英國租界の三部より成り、支那街は周圍十二支里、高さ二丈乃至三丈の城壁をめぐらし、城壁の北側は揚子江に沿うてをり、西南及び東側には甘棠湖、南門湖、老宮塘等の華麗なる湖水をめぐらし一見島の如き觀を呈してゐる

□

一八五九年天津條約により一八六一年開港し爾來貿易港として長江の經濟的重位を占めるに至りこれに附隨して英國租界が設定され支那街の西揚子江岸に沿うて既に返還された舊英國租界がある、わが領事館は勿論事變前引揚げた、外國貿易港となると共に人口は漸次增加し最近は九江全縣で二十七萬、市街地十萬の多數に達し市面殷賑を極めてゐたが事變以來輸出入全く不振に陷り關稅收入も一落千丈に激減し現在海關は內地轉口稅の代徵機關と化してゐる有樣となつた、元來九江にはわが日淸汽船が支那招商局汽船、英國太古公司其他怡和汽船會社等と共に長江筋定期航路に當つてゐたものであるが日淸汽船は事變と共に航行を停止し現在招商局汽船が中心となり三北、太古、怡和の各外國汽船會社船舶と共に上流漢口武穴、下流は馬當に至る揚子江航路及び南昌、九江間の航行連絡をとつてゐるが貨物の運搬といふよりも寧ろ江南、江北或は南昌方面より九江に集まり更に漢口、重慶其他奧地に移住する避難民の輸送がその大部分を占め特に招商局では汽船の數を增し廉價の船賃でこれに當つてゐる、支那紙の報ずるところによると目下九江は四方から殺到する避難民の收容と通過を計る爲大童となり市內の女子師範大學その他多數の民家を强制徵發して大規模なる難民救濟機關を設置し、紅卍字會その他私設慈善團體が中心となつて活動してゐるが昨年十二月より本年二月迄の通計三萬餘名だつたが三月に入つてから俄然激增し一萬九千名の避難者が殺到した、支那紙の言ふ漢口防衛の第一線的地位に立たられた九江は漢口その他奧地都市に比し斯かる特殊な戰時的情景を呈し表面的には恰かも避難民收容都市の觀をなしてゐる、そして支那側は「武漢防衛第一線」と自ら稱して居るだけ已に九江が皇軍の制壓を受ける事を覺悟して居るのだ

孫科の懇願を　ブ元師相手にせず
ソ聯の對支援助打切りか

【東京國通】國民政府代表孫科の第二次ソ聯邦訪問に際し孫科は折柄モスクワに滯在中の極東軍統帥ブリュッヘル元師をしば／＼訪問し、ソ聯の對支援助方につき同元師の努力を求めたが、同元師は徐州大會戰以來蔣政權の前途に見切りをつけてゐたことゝて共產軍問題は考慮の餘地があるが、蔣介石に關しては國民政府の北伐完成後彼が自から示した裏切り態度を回想するだに不愉快で、蔣政權に對する援助につき自分が獻言するが如きは思ひもよらぬと相手にしなかつたと傳へられてゐる

邦船邦人主義　修正さる

【神戸國通】日本海員組合及び海員協會では大陸國策の新展開に順應して今回邦船邦人主義を修正することゝなつた即ち對支海運國策會社は巨費を投じ近く實現の情勢となつたが、本邦船の支那沿岸進出のためには當然支那良民との親善を必要とするので對支國策會社の範圍內に限り下級船員の半數は支那人船員を採用せんとするとの劃期的新例を開くことゝなつたものである

近く五相會議を開き　戰時內閣の基本政策樹立
蔣政權の徹底的打倒を期す

【東京國通】板垣陸相の新任によつて近衞內閣の更新陣容は茲に全く整備したので、政府は近く近衞首相、池田藏相宇垣外相、板垣陸相、米內海相の五相會議を開催し徐州大會戰の戰捷を意義あらしめると共に蔣介石政權の徹底的打倒を目標に帝國の新戰時體制に即應する軍事、外交、經濟三位一體の諸方策樹立に向つて巨歩を踏み出すことゝなつた

板垣陸相の就任に　支那側多大の脅威

【上海四日發國通】板垣中將が新陸相に就任したことは抗戰中の支那側に多大の反響を呼び起したもの如く、三日漢口よりの來電によれば、國府軍政當局はこれに關聯して日本の軍事行動の將來の動向にまで樣々の揣摩臆測を逞しうしてゐると傳へられる、殊に板垣陸相は支那側にとつては久しく日本の對支强硬論者として認められ來つたが、今回の事變に際しても逸早く北支に派遣され十ヶ月にわたつて轉戰した結果は最近の支那の實情に對しても相當精通せること明かで、從つて今後の日本軍當局の方針はこの體驗に基いて進められることは疑問の餘地なきところであり、支那側にとつて多大の脅威の的たるを失はずとの意見が有力である、特に再度の內閣改造によつて日本の內閣が益々强化された事は國府にとつて相當の壓力を興へてゐるものゝ如くである

匿名篤志家美擧

【東京國通】日本銀行正貨準備高は三日の帳尻によると八億百二十七萬二千圓と二日に比べて一日で三萬九千圓の激增を示した、この原因は東京市在住の一篤志家がきのふ午後日銀を訪れ二十圓金貨で二萬五千圓を提供し兌換券の振替を要求した爲で、この匿名の愛國者について日銀當局は名を明かにしないが、一萬五千圓の正貨は公定金買上價格によれば約三萬八千圓でその差額利得は約二萬四千圓となりこれ丈の差額は特別會計に納められ、國庫に獻納したわけである

匿名獻金の主は　京城の尹洪烈氏

間島省における半島人無名鑛山師よりと匿名で本年一月末關東軍司令部宛國防獻金として一千圓を送附し來つたので軍ではこの奇特な愛國者を調査中のところこの程京城府城北町居住尹洪烈氏と判明したので軍では尹氏の行爲に對し痛く感激し直ちに國防獻金の手續きをとつた

國防皇軍慰恤獻金品（本社取扱）

一金一萬七千五百六十一圓七十二錢五厘（關東軍司令部へ）
一慰問袋千三百三十六個（同）
一金三千六百九十九圓五十七錢（駐滿海軍部へ）
累計 二万一千二百五十一圓二十九錢五厘
……六月三日迄の分……

チェコ問題重大化と　獨伊樞軸の實力（上）
英、佛、伊、獨協定は夢物語り

ヨーロッパでは近頃又復戰爭の危險が叫ばれてゐる、それはチェコ國を中心とする不安である、チェコは面積十四萬方キロ、人口千五百萬の小國であるが、中部ヨーロッパの丁度中心に位してゐて、政治、經濟、軍事何れの見地からみても甚だ重要な所である

昔は墺匈帝國內の西北部の一地域であつたのが歐洲大戰の結果、ウイルソン米大統領の例の民族自決の原則に從つて分離せしめられ一九一八年十月廿八日即ち今から丁度廿年前に獨立國となつたのであるが、今日の不安の禍根はこの時に既に發してゐるのである、何故かといふに千五百萬人の同國々民中七百五十萬はチェコ人であるが、これに次で三百五十萬といふ多數のドイツ人がチェコ國內に住居してゐる、國名はチェコ・スロヴァキアといふが、スロヴァク人は二百卅萬しかゐないのである、民族自決の原則は如何にも尤もらしく聞ゆるが、三百五十萬のドイツ人は祖國から切り離されてゐることに不自然なる無理がひそんでゐるのだ

ドイツ人壓迫

大戰後廿年間チェコ國內のドイツ人は抑壓を忍んで來た少數民族に對して不公平な待遇はせぬといふ建國當時の公約に拘らず事實はあらゆる點で壓迫されて來たのである

ところが祖國ドイツがヒトラー總統の國家主義によつて急激な勃興を見るに及んで、チェコ國內のドイツ人三百五十萬の廿年來の不滿が一時に爆發した、殊に本年三月オーストリーがドイツに合併實現を見て以來は今までの不平不滿を一氣に解決せんとして强硬な態度に出てゐる

このチェコ國內のドイツ人問題に關して知つて置かねばならぬ點が二つある

その一はこのドイツ人三百五十萬を指導してゐるのはコンラート・ヘンラインといふナチス主義者で、此人の率ゐるドイツ統一戰線に屬する議員はチェコ國の上下兩院とも約半數の議席を占めて大勢力を擁してゐることである

第二はこれ等ドイツ人居住してゐる地域はズデーテン地方といつてチェコ國の最大工業地帶であり、ドイツの南部國境と接してゐること、更にチェコの首府プラーグはベルリン、ドレスデンから一直線に南へ走つてウイーンに至るその直線上に入り込んで居り、ズデーテン地方は北、西南の三方をドイツの國土をもつて包圍された恰好となつてゐることである

ソ聯及び佛國と同盟

歐洲大戰の媾和條約によつて墺匈帝國を四分五裂せしめチェコやポーランドを新興國として獨立せしめた所謂民族自決は假面に過ぎず、その實はオーストリー、チェコ、ポーランドなどの新興國を以てドイツの東方及び南方を包圍してその恢復と發展を阻止せんと企てたのである

この目的のためフランスはこれ等新興諸國に金と技術とを貸して抱き込みに躍起となつてゐたのである　ところが事志しと違つてポーランドは既にフランス側から離れオーストリーはドイツへ合併されてしまつた

これよりさき焦つたフランスはドイツを抑へるためにソ聯と軍事同盟條約を結んだがチェコにも奬めてソ聯とチェコ間、フランスとチェコ間同樣の軍事同盟條約を今から三年前に締結せしめたのであつた

斯くフランス、ソ聯、チェコ三國間の同盟が今日現存するが故に萬一チェコにドイツ人問題が紛糾して重大化する場合ヨーロッパに戰爭の危險を再び招來せずやといふ心配が起るわけなのである

精神結合の強さ

五月上旬ドイツ總統ヒトラーは外交、軍事ならびにナチス黨の代表等を引連れてイタリーを訪問しムッソリーニ首相と數日間にわたつて重要會談を遂げた、その會談內容は發表されないから窺ふ術もないが、しかし今回の訪問によつてベルリン、ローマ樞軸が一層强化されたことは間違ひない

五月七日ヴェネチア宮において開催された晚餐會の席上ヒトラー、ムッソリーニ兩巨頭の挨拶をラヂオを通して世界に放送した、この內容は樞軸の益々强化されたことを裏書してゐる、ヒトラー總統曰く「兩國々民の間には偉大なる將來が開拓されるべく、イタリー國民が大切なる瞬間にドイツに對して好意を示した如く、ドイツも亦イタリーに對して同樣の友誼を示すであらう」とこれは三月中旬獨墺合邦の際におけるイタリーの支持を感謝したものと思はれるが、ムッソリーニ首相はこれに答へて「獨伊兩國々民の結束が各自の統一のために奮鬪した同じ信念によつて益々鞏固となつた」と述べ、且つ「獨伊の協力は今や樞軸となつて動かすべからざるものとなつた」と言明したのである

ローマ、ベルリンの結合は精神の結合である、獨伊樞軸と言つても格別の成文條約が存在してゐる譯ではない、然し國家復興の意氣に燃える兩國々民と兩國首腦者とが防共を精神とし、民主主義を排斥して國家主義に生きる確乎不拔の信念に土臺を置いて固く結んだこの樞軸は成文條約に幾倍も優る强さを持つて居るのである

滿洲經濟を紹介する英文特輯號成る

伊國使節はじめ各國へ贈る

滿洲中央銀行では、從來滿洲經濟の躍進振りを外國語で紹介した適當のブックレットがないのを遺憾とし、過般來此の方面に於ける相當整備したブックレットを刊行し、之を汎く世界の主要機關に配布し、以て滿洲國に對する世界の認識を深め、列國の滿洲國承認を促進したいといふ國策的意圖を有してゐたが、偶々今回伊太利經濟使節が來訪したのを機會に、先づ其の第一着手として「マンチユリア・デーリー・ニユース社」と協力し、同社の英文月刊「マンチユリア」の特別號として「スペシアル・マンチユリア・エコノミツク・ナンバー」を發刊し、之を伊太利使節に贈呈すると共に、其餘部を主要國の適當なるチヤンネルに贈ることにした由である、同英文特別號は、日に月に躍進しつゝある我が滿洲國經濟事情を凡ゆる側面から分析敍述し且つ其中へ多數の美麗にして有益なる寫眞及び圖解を挿入したオリエンタル・カラーたつぷりの瀟洒たるブックレットで、僅々一ヶ月といふ短時日の間に仕上げたものとしては美事な出來榮えである、其の主なる内容としては

滿洲國建國の意義、滿洲國の國際的地位の躍進、滿洲經濟の驚くべき進歩、各種産業の顯著なる發達、重要産業の保護獎勵、外國貿易の急速なる發展、國家財政の堅實なる膨脹、幣制の統一と健全通貨政策、金融機關の整備改善、穩健なる物價趨勢、交通通信機關の普及び移植民の獎勵等

である、特に中銀總裁田中鐵三郎氏は、卷頭序文として、「我が歐米の舊知に告ぐるの書簡」を執筆したが、これは氏の過去三十年間の銀行家生活中、前後二回に亘り長い間歐米に駐在、就中一九二九年以來の世界恐慌時に於て日銀倫敦監督役として、又國際決濟銀行設立委員及び理事對獨金融專門家委員會委員、國際聯盟財政委員會委員として、大戰直後の世界經濟再建の爲に活躍當時親交せられた多數の歐米の友人知己に、滿洲に赴任後親しく實見せられた滿洲經濟の驚くべき發展振りの樣相と之に對する感想とを報道する形式を採られた名文で同英文ブックレットに錦上花を添へてゐる

于治安相夫人等　恤兵院訪問

于治安部大臣夫人以下同部軍事顧問、各科長の夫人連廿五名は三日午後恩賜軍管區病院ならびに普濟會經營の恤兵院を訪問國防及び治安確立の第一線に起つて働いた勇士達を慰めた

各部對抗蹴球

司法部覇權を握る

滿洲國政府各部對抗蹴球最終日の交通部對司法部決勝戰は烈風吹き荒ぶ三日午後四時半から中銀グラウンドにおいて闘（主）張、郭（線）三氏審判、司法部先蹴で開始され、試合は大接戰の末二對零で司法部に凱歌あがり輝やく覇權を握るところとなつた

司法部2（0―0 2―0）0交通部

總評

半歳の眠りから覺めて新緑陽光の下參加チーム十四をわたつての熱戰を見て連續數日間に展開し、つひに司法部の優勝するところとなつた、司法部は連日樂勝を續け十二分の餘力を蓄へたるに對し交通部は經濟部、總務廳と死力を盡し強豪を屠つて相對する立場となつたが、戰運に惠まれず遂に榮冠を司法部へ讓るの餘儀なきに至つた思へばシーズン當初のこと、各チーム共に練習不足、到底かゝる熱戰が繰り擴げられるものとは豫想しなかつたのであるがよく若人の意氣と加ふるに年を追つて進む技倆の向上は本大會を意義あらしめたことは誠に喜ぶべきものであつた、しかしながら總體的にみる時はまだ留意を要すべき點もあつたので氣のついたまゝを二、三述べてみることにする、蹴球そのものゝ研究が足らず動きの變化の留意が缺けてゐた、たゞ一本調子で戰法を變へることなく舊態依然、二、三のプレーヤーを中心としてのチームであり、交通部に破れ去つた經濟部、總務廳等何れもポイントを抑へられて手足をもがれ空しく終つた如きものである、なほ又キックそのものにも無駄蹴が多く一つ〳〵のキックを考へてする位の意識がなくてはならぬし高いボールを無理して足をあげファウルプレーをなすよりもヘッドで樂に處理すべきだ、徒らに觀衆の讃辭に惑はされることなく觀衆も亦たゞ大きな無駄蹴やる人を拔いたことのみ賞讃するのでは幼稚といはねばならぬ致し方あるまい、ボールを得てからの動作も同樣パスの時期を考へねばならぬ、愈々シーズンも本格的に入りリーグ戰、都市對抗等とビツクゲームも次々に行はれるからこの意氣と熟とをもつて十二分の練磨と研究を忘れることなくステツプ・バイ・ステツプ斯道の躍進を祈つてやまない

客車改良研究會

【京城支局】客車諸施設について旅客の快適と取扱上の利便とを目標として朝鮮鐵道局工作課では專門技術家が不斷の努力と研究とが續けられ「あかつき」「のぞみ」等優秀列車の實現を見正に半島鐵道の誇りとなつてゐるが、最近一般旅客の急激な增加と大陸への進出に伴つて遠距離旅客も日每に增加の一途を辿りこれに對應する施設の向上も必要に迫られたので二十八、九の兩日午前九時から鐵道局第一會議室で工作、運轉兩課員を初め直接間接に旅客取扱に携はる營業課員及各鐵道事務所の營業係各列車區長、各檢車區長など招集第一回の客車改良研究會を開催し今後の客車增發或は改良に對する好資料とし優秀客車を以て半島旅行者に一層滿足を與へようとの計畫である

甘藷苗床の　黑斑病調査

【京城支局】總督府では無水酒精の製造用原料として甘藷の栽培を全鮮的に獎勵本年の同耕作面積は三萬町歩以上擴大されてゐるが朝鮮に移入される千葉、熊本、廣島、岡山等の内地各主要産地では甘藷の敵黑斑病が發生してゐるため同病の病の鮮内移入懸念漸く濃厚となり總督府農林局では各地植物檢査所をして極力嚴戒せしめつゝあるも今回更に水原農事試驗場を始め各道農事試驗技術員を派遣して目下發芽育成中の甘藷苗床の檢査を實施し黑斑病の豫防に全力傾注し怪しいものは悉く燒却せしめて病毒の根絶に大童となつてゐる

ポーランド飛行家南大西洋横斷

【ダガール（佛領西アフリカ）二日發國通】米波連絡飛行のポーランド飛行家ウスキー少佐一行は愛機ロツクヒード機に搭乗し二日午前一時五十分ブラジルのナタールを出發、快翔十七時間で南大西洋を横斷し午後五時二十分佛領西アフリカのダガールに安着した

競馬

混沌たる下馬評裡に　第二次優勝レース

大房身の人氣正に沸騰點

待たるゝ新京春季競馬第二次優勝レースの華々しき熱戰の日は遂に來たのである、けふこそ駿馬の力を賭して戰ひ、名譽の記録を飾る最後の一戰なのである

△△

本日行はるゝ第二次チヤンピオンレースの下馬評を擧げて見る（春抽）の優勝を狙ふ出場馬の代表的なるものは午陸章功、榮生、新宇治川、新響愛川、鵬鯤などであらう、時計から見ると午陸、鵬鯤、愛川等一、二秒の差であるが二千四百米となると新馬の移動が常に激しい關係上どれが第一次の榮冠をかち得るか判らない、午陸、愛川、榮生、章功等が早くも人氣を呼んで居る、榮生は昨日の成績が余りその人氣を呼んでゐる、然し金進、金大勇共に好調を傳へられてゐるから長距離レースに妙味彷彿として展開されるさすれば第二次のこのレースをキヤッチするものは何れか新進古豪入亂れての熱戰がこゝにも繰り展げられるのである

△△

（各抽障碍）二、八〇〇米では再び第一次の覇者舞姫の有望説が多い樣である、然し大江戸、一貫、賽玉、高丸等の虎視眈々たる猛者が控へて居るので、障碍レース丈けにその榮冠をかち得るものは判らない、賽玉邊りが再び往年の力量を發揮して障害馬王の人氣を挽回するか全く興味津々たるレースであらう

△△

（各抽）二、四〇〇米の出場馬は吉生、幸々、驀（新初音）愛國、來北、堅城、金嵐、第二飛龍等である、第一次のチヤンピオン馬吉生の再制覇は相當苦心するであらう、幸々、第二飛龍等がグン〳〵迫つてレースは大熱戰を展開しよう殊に驀、幸々邊りの好調を傳へられるから豫想は困難である

△△

（新古外馬）の優勝レースの出場馬は美光、金英、富洋、金駒、嘉洋、新泉、金鍔、出輪等である、美光再び優勝を制覇するか、これに金英、富洋どころが必勝を期して追込むだらうから呼馬のスピードに展開される熱戰こそ見物であらう

△△

（呼馬特別障碍）二、八〇〇米の出場馬は新鷹、金大勇、金進等であるが新鷹は今より

△△

兎に角最後の優勝レースは人氣を沸立て、日曜日の本日は素晴らしい競馬デーとなつて、滿都ファンの總動員といふ形となるだらう、馬場は好のカンカン馬場で、今日も快晴の天氣豫報である

△△

第一次優勝レースは終始波瀾の競馬となつたが第二次優勝レースは再びこの穴デーを再現すか無氣味な風の便りである

△△

第七日目の成績は小穴續きといふ形であつたが最後の三レース障碍に奉天變派の高配圓三十錢の最高配當を出し華々しい好レースに終つた

讀者の領分

（投稿中傷不歡迎）

競馬ファンへ

超非常時の國防上欠く事の出來ない馬

其の改良は正に國民の總べてが自から進んで參與しなければならない所だ、其大切な國家事業の馬の改良に國民の馬に對する見識向上の第一基本となる競馬、それは正に公正であるべきものと信じて疑ふべき物ではない、それと同時に競馬を見る事の出來得る者正に紳士淑女たるべきで有る、私はこゝに一つ自分から進んで公表したくはないが余りの非紳士を見出したので殘念の至りで有るから、此の後此の樣な非國民があの神聖なるべき競馬場に出入する事をはばかりながら御斷り致したいと思ふ者で有る、しかも本年春第一次賽馬會八日目障碍レース競馬中の難物たる障碍レースに馬も人も一心に飛越又飛越と力走して居る時、自分の買つた馬番號の馬が後方から走つて居たのか、其の非紳士の云ふには先頭に走る馬に對してヒツクリかへれば良い、くそツたれがと云ひながら馬券を破つて居た、彼が國民で有り紳士で有るならば勝つても負けても生命を「として」走る馬に對して敬虔を表し亦拍手すべきでは有るまいか、自己の馬を見る知識の下手なる事を知らずに色々なデマを飛ばす非紳士淑女の多い事を悲しむと同時にファン諸君の心からの修養と見識向上を祈る者である

戰場に働く馬も兵士も競走場にある馬も人も同じく國の爲では有るまいか、來るべき日に備へて改良されてそれは正に國家の守りで有ると思ふ馬と云ふ本當にかはいゝ動物だと思つたら一度競走で買入れて朝夕に馬と共にする事だ

そしたら競馬と云ふ物に分つて來る事だと思ふ物はすべからずかはいゝ國の爲に亦世界平和の諸君の健康を祈ると同時に諸君の修養と健康を祈る「馬と共に生る者」

出馬及び勝馬豫想

▲第一抽古二、〇〇〇米
一着 惠駒 久保田
二着 南風 梶原
三着 新勇 松尾

▲第二古外障碍特別二、八〇〇米
一着 金大泉 吉満
二着 新鷹 松本
三着 金進 池田

▲第三、春抽二、〇〇〇米

▲第四抽古二、〇〇〇米
一着 陶山
二着 榮華
三着 金瀧
四着 吉駒
五着 新白龍

一着 夢
二着 甲子
三着 新松綠
四着 奉天鮮勝

第七日目成績

（二分二八秒三）2第三淡桂、配當―單一〇圓五〇、複1一〇圓三〇、搖彩票1八圓四〇2七九圓三〇

朝鮮水産關係

北支進出計畫

【京城支局】鮮内水産關係團體を中心に内地側と協力して北支水産開發會社を創設すべく計畫されたが其後沙汰止みとなつてゐた矢先内地側では最近内地のみにより別個の形式で北支進出を行ふことゝなつたので鮮内水産團體間で同計畫をブリ返し目下熱心に研究中であり資本金は五百萬圓乃至一千萬圓程度で現在の朝鮮水産事業を北支に延長して確固たる水産地盤を構築せんと具體的計畫を進めつゝあり鮮滿支水産事業の一元化の上から新會社の設立は各方面から注目期待されてゐる

安奉鑛業

滿鑛に移管

鳳城縣靑城子附近一帶の鉛鑛區は日本鑛業の子會社たる安奉鑛業の手によつて經營されてゐるが、滿洲鑛山會社では既に同方面に第一回調査隊を派遣してをり、安奉鑛業は近く滿洲鑛山の子會社となるか或は同社内に包含されるかの何れかに落着くものとみられる

女學校設置

陳氏未亡人が智子裏方後援

【北京一日發國通】先程逝去した北寧鐵路局長陳覺生氏の遺志により同氏未亡人がその經營する新しい日支女子教育機關の覺生女學校は東本願寺智子裏方の力強い援助により來る七月愈々開校することゝなつた、同校は從來の支那女子教育の缺陷を改めて家庭に適した良妻賢母を養成することを目的とし來る七月に百人の學生を入れて開校する、校舎は東城皮庫胡同の元通縣の校舎で開校する筈で未亡人が校長に智子裏方が名譽校長となり、その資金は覺生氏遺産のほか東本願寺が年約一萬圓を補助することゝなつて居り日支婦人の協力による教育機關

明暗

死亡

▽原籍兵庫縣、永樂町二丁目一番地森本孝氏（大正十四年六月四日生）五月二十八日

▽原籍大阪府、富士町三丁目二番地林ビル八號、矢内道子（昭和十二年三月六日生）五月二十九日

出生

▽豐樂路五一二ノ二綿鍋一郎氏長女俊子（二月二日）

▽崇智胡同百十號森下秀夫氏長女博子（四月七日）

▽興安大路六二八長春ビル福丸嘉七氏淳子（三月九日）

▽豐樂路六〇二ノ三小中誠志郎氏長女啓代（三月三十日）

▽興安胡同一〇一號清水隆義氏長女惠子（四月十九日）

▽豐樂路豐樂ビル二十四號大塚文雄氏寧代（四月六日）

▽大經路三九號池本常彦氏悦子（三月二十日）

▽豐樂路一一〇號松浦進二氏長女孝子（三月二十日）

▽新發路一〇二號佐藤篤廣氏次女恭子（四月十八日）

▽西三馬路三十一號金永泰氏輝（一月二十七日）

▽至善路五一一號岩吉敏直氏長女郁子（五月一日）

▽天安路一〇二號田中通明氏長女淑子（五月二十三日）

▽北安路六二二號萩原忠夫氏倭文子（五月二十五日）

商況欄

新京取引市況　四日後場

先物	寄付	出來高
●大豆 六月限	六、八〇	一六車
七月限	六、八三	
●高粱 六月限	六、六三	一車
七月限		
現物		
大豆	―	
高粱	―	
小豆	―	
米	―	
玉蜀黍	―	

手形交換高（四日）

[illegible]枚　一、一六二、六九、三五六

皆さんご存じですか　ラヂオ擬音の種明し
機關銃や鳥獸の鳴き聲など　音を作る道具のお話

ダ、、、、、といふ機關銃の音に交つて、ドカーン、ドカーンと味方の撃出す大砲の響が耳を撃く。パカ／＼／＼と軍馬の蹄の音。「ソレッ！突撃！」「突撃！」中隊長の聲に「ワアーッ」と、攻撃の折柄、ブーンと唸を立てゝ次第に近づいて來る我が荒鷲隊の頼もしい姿。

あゝ、敵は總崩だ！ーーラヂオの實戰さながらの音に皆さんは耳を斜け、手に汗を握つてゐらつしやることでせう。

あの音は　實物そつくりですね。でもまさか放送局の中で戰爭がある筈はないし、どうしたのでせう。皆さんがきつと不思議がつてゐらつしやるだらう、と思つて、今日はその種明をすることに致しました。

あの音は擬音といつて、色々な道具を使つて本當の音のやうに眞似てゐるのです。ですから放送室を見ると、感心したり、ふき出したくなつたり致します。

先づ勇し　い機關銃は、レザー張の安樂椅子を棒で叩くのです。棒の大小、叩き方等で激しい銃聲ともなり、遠くも近くも思ひのまゝです。簡單に出來るのは紅茶の罐の蓋を板上にのせ、棒で叩くといゝのです。これは皆さんが戰爭ごつこをなさる時、一寸眞似てごらんになると面白いですね。大砲は一疊程の鐵板を吊して置いてドカーン、ドカーンと叩きます。ラッパは勿論本物ですプロペラの唸は扇風機のモーターに取付けてある革の幾本かの細長いテープを太鼓、又ははがきの面に觸させて廻轉させるとよろしいのです。面白いのは

蹄の音で　箱に小豆を入れ、お椀二つでパカ／＼／＼、と叩きます。又、木で作つた椀形を二つ叩き合はせるのも致します。皆さんの大好きな兵隊さんの行進、あの勇しい靴音はどうして出すのでせう種を明せばなあんだ、袋の中の、一斤程の小豆を手でザク／＼と揺るだけなのです。

さて、次は大嵐の場面です雨がパラ／＼／＼と木の葉や窓を打ち出しました。次第に激しくザアーザアーといふ音に變つて來ます。之は澁團羽に大豆又は

空氣銃の　彈丸を二粒位に澤山糸で付け、横に上手に動かすといゝのです。風がピユー／＼吹き出しました。大きな糸車の様な木のわくの上にズックを被せてゴーッと廻轉させますとピユー／＼と本當の大風のやうです。もう少しゆつくり廻せばゴーッと少し落着いた風の唸にもなります、やがて雷さへも鳴り出しました。寫眞のやうな木の車を太鼓の皮にあてゝ車を廻しますと、ゴロ／＼と木の角があたつて雷の音がします。雨・風・雷と三人掛りで音を出すのです。

今度は海　邊です波打際には波がザアー／＼と寄せては返して居ります。此の波の音は、大きな竹籠の中に小豆と粟を入れてザアー／＼とゆすぶるだけです。船を漕ぐ時の櫓の音は、二本の細長い角木の端に心棒を通し、ギイッ／＼と擦り合はせるのです。出帆の船の汽笛は口の一つ空いてゐる長方形の箱へゴム管で息を吹き込むのです。もつと簡單にするには空瓶の口へ息を吹き込んでもボーッとよく鳴ります。

汽車の發　車から進行迄はそれは大變な騒ぎです。始め汽笛は笛でピイッそれからシュッシュッシュ／＼／＼と、これは紙やすりを板に貼り付けたのを二枚こすり合せて、速度を考へ乍ら出すのですが、別に凹凸のある鐵板の面を、針金を輪にしたので擦つてもよく出來ます鐵橋の上を渡る時はゴト／＼／＼云ひますね。あれは先の鐵板の面を指先で輕く拍子をとり乍ら叩くのです。

雪がサラ／＼と降る音。あれは、片栗粉を入れた袋をマイクロフォンの近くで揺り乍ら音を出すのです。

鳥の羽音　は日本紙の綴じたものを叩き合せるとパタ／＼とそつくりな音がします

犬の鳴聲、これはとても面白いんですよ。海苔か何かの空罐の蓋の天井を抜いて、そこへ皮を張り、最中へ紐を通し長くして置きます。松脂を付けたズックを手にはめて、紐をぴんと張つてキュッ／＼と擦るのです。するとワン、ワン、と、とても元氣のいゝ大きな犬の鳴聲がします。

ゲロ／＼／＼と蛙の聲は赤貝の殻を二つ、背合せに擦ると出來ます。

オギャア／＼と赤坊の泣聲馬の嘶く聲、モーと牛の聲、メーと啼く羊から色々な鳥、虫等、それ／＼そつくりな音のする笛が出來て居ります、

障子の開　閉の音等は皆お芝居の道具立が揃つてゐますからそれを實際に使ふのです。

かうして擬音を扱ふ人達は汗みどろになつて音を出して居るのです。マイクを通ずると音が違つて聞えるので、一つの音を出すにも非常な苦心がいります。

近頃では　トーキーのやうに實際の音を録音することが出來るやうになり、海岸に行つて波の音、風の吹く日に風の音、戰場で砲聲といつたやうに音を録音して置いて、放送の時使用する方法も研究されて居りますが、でも矢張りこの擬音は放送には極めて大切なものです。

さあ、これで大體の種明は終りましたね。これから皆さんがラヂオを聞く時にはこの擬音のことを考へて聞いてごらんなさい、一層興味深く聞けませう。

連載漫畫　傘屋のやんチャン　西ひさし

小學校に角力コーチの天龍

相撲報國に體育保健協會の指導員として精進の天龍事和久田三郎君は今度は市内小學校兒童の爲のコーチを思立つて一日午後四時半先づ八島小學校で四年以上の男兒に熱心にコーチに當つたが、二日より順次市内各小學校を巡回するとのことである

だん／＼利用される　電氣自働車
ガソリンを使はず走る

わが國　の自動車の數はこの頃ではふえてまゐりましたが、それでもアメリカの二千八百九萬臺に對して日本では十五萬臺しか運轉してゐないといはれてゐます、しかしこれから交通機關が發達するにしたがつてます／＼自動車をふやすことが必要になつて來ますが、皆さんも御承知のやうに、わが國では石油やガソリンの液體燃料の資源が少いので、ちかごろは木炭で動かす木炭自動車や電氣で動かす電氣自動車がます／＼人々に注意されるやうになりました

木炭自　動車の方は木炭がゐなかでは安く得られますから、木炭自動車は都會よりもゐなかの交通機關に適してゐるといはれてゐます、電氣自動車の方は今まであまり人々に知られてゐなかつたやうですが内地では運搬車や乘合自動車など百四十臺ほど運轉してゐます

電氣自　動車は普通の自動車がガソリンで動くのとはちがひ蓄電池を積んで、それの動力で動くのですから、ガソリン自動車とは色々の點で變つたところがあります。

一、くるまの震動が少いこと
二、運轉がたやすいこと
三、速度の變化がきはめてなめらかであること
四、故障を起す部分がすくないこと

などの特長がありますから、市内や郊外の乘合車や百貨店の配達車、爆發危險物の運搬車などに適してゐます

しかし　なにぶん蓄電池を動力として走る自動車ですから、蓄電池に電氣をつめる操作がわづらはしく、蓄電池の使へる期間が比較的短いこと、ガソリン自動車にくらべて速度がおそいといふやうな缺點もあげられてゐます、然しそれらの缺點はだん／＼改良されつゝありますし、豐富にめぐまれた我國の電力を安く容易に利用し得るといふ有利な條件もありますから、今後電氣自動車はヨーロッパやアメリカより以上にさかんになるだらうと思ひます、戰爭でいつたん經濟封鎖でもされて外國から石油が來なくなつたと考へても電氣自動車を普及させれば大いにガソリンを節約し、國内の交通運輸を全うすることが出來ませう。

夏の室内を飾る　金魚のお話
始めは武士の玩具でした

金魚、金魚、可愛い金魚ー金魚賣の聲が流れて、夏の來たことを私どもは知ります。皆さんのお家にも、きれいな金魚鉢に樂しさうに金魚が遊んでゐることでせう。けふは金魚のお話を致しませうね、金魚はふな科の一種で人工を加へた魚です。わが國には足利時代から人の眼を樂しませる魚として現はれてゐます。わが國へは支那から渡來したものです。

種類は　大體「和金」「流金」「らんちゆう」の三つに分けられますが、これを更に「和金」「流金」「おらんだ」「らんちゆう」「孔雀」「出目金」「鐵尾長」「頂天眼」「土佐金」「和唐内」に細かく分けてゐます。このほかに新しいものとしては「キャリコ」「出目らんちゆう」「出目秋金」「東錦」「金蘭子」「尾長鯽」があります「和金」「孔雀」「和唐内」「失又金」「尾長鯽」は胴長の金魚で、その他のものは胴丸です。

德川時代幕府から金魚の飼育を命ぜられたのは、今の柳澤保恵伯の祖先、奈良縣郡山の藩主でありました。だから今でも郡山には澤山の養魚場があります。かうして初めは

武士の　趣味の魚でしたが段々一般の人も愛玩するやうになつて、こゝに金魚の賣買が行はれるやうになりました。明治三十年に東京に金魚屋さんの組合が出たとき、會員の半分以上は士族でした。さて一年の

産額は　又、どれ位の金魚が産れるかといひますと、東京で千二百萬尾、郡山六百萬尾、愛知で三百萬尾、その他に百萬尾以上飼養してゐる處はありません。このうちから毎年々々百五十萬尾位滿洲や米國に輸出されてゐますが、向うでは熱帶魚と同じように非常に喜ばれてゐます。たゞ米國送りによろしいが、滿洲送りのものは、熱帶地方を通るので、向うに着いた頃には十分の一位しか生きてをりません。

金魚が卵を産むのは四月の中頃から五月一杯位で、卵は金魚藻に生みつけるのですが、一尾で約二萬の卵をうみますこれが全部金魚になることもあれば、一つも金魚にならない場合もありまして、五日から十日ぐらゐたつて、金魚の

子供に　なりますと、玉子の黄味をゆでて水の中でかんれいしやでこして、それを餌にして食べさせるのですが、面白いことに自分で餌を見つけることができないので、丁度口のあたりに落ちて來たのだけ食べますこれを午前十時と午後三時の二回やります。かうして一週間たつてからみぢんこを餌にします。

兒童作文集

荷車の馬
白菊校高一　筒井とし江

いつか學校歸りに町角でいぢめられてゐた荷車の馬のことを思ふ度に、あはれな馬の姿が目前にちらついて、かはいさうでたまらない。お友達四人と色々話しながら歸る途中、ひどく／＼どなるやうな人聲それにぴしり／＼とむちの音がするので何事だらうと思つて急いで行つて見ると、荷車の馬が、あゝ無ざんにも、私は目をそむけた。

かわいさうに馬の目から鼻から足から、いや體全体に血が流れてゐる。馬はころんでもがいてゐる。ニーヤは恐しい聲でどなつてはぴしり／＼と馬にむち打つてゐる。馬は首を振り立てゝ足をもがくがどうしても起き上れないむち打たないでも車を離してやつたらいゝのにと、私は心の中で思つた。あゝ、かはいさうに、今にも死にさうに、ヒン／＼／＼と鳴く馬の鳴聲が私の頭にこびりついてまだ離れない、あの助けを求めるやうな鳴聲。

遂に私は「ニーヤン、ブシン／＼。」と二三度叫んだ。お友達も聲を揃へて叫んだ。しばらくするとむち打たれながら馬はいきなり立ち上りあばれだした。私は「うんとあばれろ／＼、ニーヤンを困らしてやれ」と心の中で叫んだやつと靜まつた馬は、ニーヤにむち打たれながら重い荷車を引いてとぼ／＼と歩いて行つた。私は口のきけない動物はみんなかはいさうだと思つた。そしてこのかはいさうな馬をいつまでも見送つてゐた

畠つくり
白菊校　山本伊津子

裏のあき地の小さな畠
何を植えよかトマトに胡瓜
土をもつたり砂運んだり
そうれがんばれもう一息だ
夕げのあとの一働きは
力びち／＼小腕ぶらなる
ほつた土の香うれしい春よ
そうれがんばれもう一息だ
秋になつたら實れよトマト
カニの子みたいに水やらう
大きくなれよ畠の苗
そうれがんばれもう一息だ

うちのばうや
室町校尋三　金子和子

うちのばうやはとてもやんちやでこまります。いつもお客様がいらつしやると、ふだんよりあばれてお母様をこまらせます。だれでもおこらない時はかはいゝもので、うちのばうやはわらつてゐる時はとてもかはいゝです。それからやさいニーヤが來るとまつさきに出ていつて

「ちんてんぷよー」

といひます。そんな時はとてもかはいらしいのですが、おこるとなるとかみつくやらひつかく、つねる、ぶつといふぐあいで大こまりです。そしてばうやはまだ學校へも上らないのに、なんでもよくしつてゐるのでみんながばうやの事を（物しりさん）とあだなをつけてゐます。ひらがなやかたかたはみんなよめて、いつもまんがの本を一人でよんでゐます。又なんでもよくおぼへてゐてなにかみえない時には

「ばうやにきけばよくわかるよ」

といつて、いつもばうやにきくとすぐおしへてくれます。私もこないだ讀方のほんのみつからない時ばうやに

「ばうやおねーちやんの讀方の本しらない」

ときくとばうやは

「しつてるよ、ぼくは物しりさんだものさつきつくえの、上にあつたよ、よくさがしてごらん」

といつていばります。

又しゆうしんのしけんの時おかあさんに見せたら

「和子ちやんはならぬかんにんするがかんにんといふわけがわからないんですつて、ばうやはちやんしつてゐるはねーぼうや」

といふとさもじまんらしげに

「うんしつてゐるとも、できないかんにんをがまんすることを、ならぬかんにんするがかんにんといふのだよ、おねーちやんそんなことがわからないの」といつたので、みんながおほわらひをしました。

又私ががつ校がおはつてかへつてくるとばうやは

「おねーちやんつくえの中におかしいれといたよ」

とおしへてくれます。こんな時はとてもかはいゝと思ひます。

お祭
白菊校四年　井上和代

おすなおすなの人ごみに
上る花火の美しさ
あね樣人形ごむ風船
今日はうれしいお祭だ
長いたもとのおふり袖
赤いきれいな帶しめて
皆でおまいりいたしませう
今日はたのしいお祭日

ラヂオ

けふの番組
［M・T・C・Y 新京放送局］六月五日　日曜日

朝
六、二五ニュース（東京）
六、三〇ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
六、五〇中等滿洲語講座（大連）講師 秩父固太郎
七、一五朝の音樂（東京）
八、二〇氣象通報
八、二五建國體操
九、〇五經濟市況
九、三〇經濟市況（東京）
一〇、〇〇家庭講座（哈爾濱）
一〇、二五料理獻立（奉天）
一〇、三五家庭メモ（奉天）
一〇、四〇經濟市況（大連、新京）
一一、三五經濟市況（太連）
一一、四〇經濟市況（東京）
一一、五九時報（東京）

晝
〇、〇一琴の演奏（レコード）
〇、三〇ニュース（東京、新京）
一、〇〇經濟市況（大連、新京）
三、〇〇經濟市況（大連、新京）
三、五〇經濟市況（東京）
四、〇〇ニュース（東京）氣象通報、ニュース（新京）
四、四〇經濟市況（大連、新京）
五、二〇ニュース（鮮語）
ラヂオルポルタージュ 新天地北支那を訪ねて（一）（鮮語）滿鮮日報社記者 李台雨

夜
六、〇〇子供の時間（東京）童話劇 赤城みちを作 が殖様事件 アタゴ童話劇團
六、二〇コドモの新聞 東京 村岡花子
六、二五講演 滿洲開拓青年義勇隊に就て 滿洲拓殖公社事業部長 中村孝二郎
七、〇〇ニュース（東京）ニュース、告知事項、番組豫告（新京）
七、三〇特別講演（東京）傷兵保護事業に於て 傷兵保護院總裁 陸軍大將 男爵 本庄繁
七、四〇講演（東京）ドイツ民族の勢力 經濟學博士 加田哲二
八、〇〇吹奏樂（東京）陸軍戸山學校軍樂隊 指揮樂長 山口常光
一、行進曲「人形」バアイヤー作曲
二、トランペット、ビューグル二聯奏「笑ひ上戸泣き上戸」ラビー作曲 トランペット 堀江上等兵 ビューグル 齋藤伍長
三、描寫曲「鼓笛隊」八木傳編曲
四、ピッコロ二聯奏「つぐみとほゝじろ」クリング作曲 鈴木伍長 臼田上等兵
五、描寫曲「森の鍛冶屋」ミヒヤエリス作曲
八、三〇童謡組曲（大阪）子供の詩集 佐藤惣之助作詞 佐々木すぐる作曲 飯「ふさえ」 大阪放送合唱團 大阪ラヂオオーケストラ
一、アイウエオ放送局
二、季節の合唱
三、花の戰線
四、虫の兵隊さん
五、雨だれの舞り
六、虹の街
七、魚の艦隊
八、人形のスポーツ
八、五〇ラヂオヴアラエティ（東京）武者人形博覧會 穂積純太郎 伊馬鵜平 齊藤豊吉 菊山一夫 作 鈴木靜一 作曲 德川夢聲 藤原釜足 岸井明 今泉啓 清水美佐子 千葉早智子 鈴々舍馬風 能勢妙子 平井英子 藤山一郎 AK文藝部演出 鈴木靜一 東京放送管絃樂團
九、二九時報、ニュース、ニュース解説（東京）氣象通報、ニュース、告知事項、番組豫告（新京）
一〇、二〇ニュース再放送
一〇、三〇北滿の時間（哈爾濱）

學藝

金魚と少女 (五)

東　桂造

二日目の試合の日健治は少女の兄の健鬪を祈り試合場に赴いて昨日の少女の坐つて居た所に席をとつた。

健治の隣の空席に少女が來たのはそれから四五分後もう試合が始まつて居る時だつた

「あのもしく此處席空いて居りますのでせうか」

「えゝ」

健治は餘りに眞近に少女と顔を合し思はず顔のほてるのを感じた。少女は健治の顔を見て去年金魚を自分にぶつけた青年と思ひついたのかそれとも昨日の兄の相手だつたと氣付いたのか「あら」と云つて横に腰掛けた。

健治は帽子を脱ぎ椅子の上に置き、

「あの一寸選手の控室に行つて來ますから濟みませんけど席見て下さいね」と言つて席をたつた。控室の前に居る二三人の道場で顔見知りの人に挨拶をして室に入つて行つた

少女の兄は健治の姿を見ると直ぐ近寄つて來て「昨日はどうも失禮しました」

「いゝえ」

健治は力を込めて「それより今日は是非勝つて下さいね病氣のお母様も喜びますよ」

「えゝッ、どうして母が病氣だと知つて居られるのですか」

少女の兄は驚いて尋ねた。

健治はそれには答へず只笑つて「勝つて下さいね」と言葉を殘して室を出た。

「有難う」と健治は少女の横の席に戻つてリンクに目を注いだ。

少女のハンドバッグにい赤金魚の模樣が入つて居る。健治は思ひ切つて

「去年の暮の晩金魚を拾つて呉れたのあなたでしたね」健治は口下手にどもり乍ら言つた。

「えゝッ？あゝあの時の人でしたの、私氣がつきませんでした」

二人共思ひがけない再會に顔を見合せた。

勿論健治には少女に遇ふのは四回目だつたが。

「あたしあの時金魚捨てるのつて可哀さうでしたもの、家に歸つて埋めちやつたわ、あたし金魚が大好きなのです」

健治は少女の純情に心恥づかしい様な思ひで「今兄さんに遇つて來ました。今日の兄さんの相手は時々道場で見るロシヤ人です、今日もきつと兄さんは勝ちますよ」

少女は嬉しさうに金魚のついたハンドバッグをいぢくつて居た。「僕これで貴女に遇ふの四度目ですよ、一度は金魚を捨てた晩、二度目は澁谷病院で、三度目は昨日此處で、そして今日が四度目です、お母さんは病氣悪いのですか」

健治がかう言つた時少女の顔は俄に曇つて行つた。

健治は悪い質問だつたと後悔しやり場の無い眼を再びリンクに移した。少女の兄の試合が始まつたのは其の次だつた。

健治の豫想通り四回戰迄ずつゝ優勢な試合で少女の兄は判定勝ちだつた。

「明日又來ますか」

「えゝ、ですけど勤め先で人に替つて頂け無いと來れませんの」

健治と少女は兄の明日の優勝を心に願ひ乍ら別れた。

翌日は三日目各級の優勝戰だつた。

健治が試合場に行つた時にはもう少女は來て居た。健治は少女に今日の兄の相手を説明した。

「東京の大學に居た時選手をやつてたとかで隨分頑張る人です、性質もすさまじい人なのであだなが名前の齊田の齊をとつて獸の犀と云ふのですだけど兄さんの事だから大丈夫でせう」

「そんなに心配しなくても大丈夫ですよ」

眉をしかめた心配氣な少女の面に夏の強い太陽が照つて居る。

黄河

菫川千童

——茫たる砂丘。うねりのはてに。
太古の沈欝を靜もる水脈こそ深ひつにして。」
——始源の赫土を耕した。
尊い東亞同穴民族の苦惱よ

雨。煙る……………
消えぬがにして走る。一線のかなたに。」
雲ゆく！と見る人寰のほのかな追憶と。」
そこは荒ふるだに泛んで、昔ながらの唸り聲
重々しく空ゆく搖籃の流れを見送るがよい！
これは亞細亞の若き白光だ。
行け永劫の石矢！動く日のあらたな黄河。

ロマンテイクと詩人的稟質

—北村謙次郎「鶸」—

これは作者がその持つロマンテイクなものをふんだんに盛つた小説である。小説の展開する場所が現實的なので、人はともするとリアルなものをそこに感じさせられやうが、實はこの小説の本質は甚だ度ぎついロマンテイシズムにある。

自分の出生を一羽の鶸の化身だと信ずる少女。その少女が、現實社會の荒波にもまれてゆくのだが、結局彼女は林の中に駈け込み、それを見てゐる男にはパッと白い煙みたいなものしか見えなかつた。まさに當世比ひ稀れな浪漫小説である。

ところで、斯うした作者の詩人的稟質は甚だ珍重すべきものであるのだが、その作品について見るとき、いかにもそれが硝子戸の中でつくられた玩具の世界の話みたいに感ぜられてならなかつたのは私だけであらうか。そこに作者の稟質の脆弱さが暴露されてゐはしないだらうか。たとへば映畫「生きてゐるモレア」を持つて來て對比させて見やう。そこにはいかにも實感にあり得べからざる場面が現はれて來る。しかしそれは切實に我らに受取れる。蓋し、強烈な現實把握の精神がその裏付けとなつてゐるからである。北村氏の場合、それが稀薄なのだ。それが硝子戸内の作品だと感じさすのだ。その詩人的稟質を荒々しい現實の中に拋り出すことが肝要だと思ふのである。

(御厨彦士)

土耳古の新文學 (D)

楊　昌溪

吟行詩人が活動した故事については、叢書の第四册に、歴史的に記載してゐる。ペイ教授の意見によれば、アナトリア古代文學の興起は十五世紀の頃であつた、それが通俗詩人を生んだ、そして當時彼等の作品は無價値と認められたために刪去されたのであつた。

ペイ教授は最初に出版した詩集に於いては古代の歌謡を省略した。だが十七年來の研究は大部分十七世紀から十九世紀への俚曲盲詞の方に移された。同時に古代の抒情詩も相當に探し出された。それがいかなる人によつて作られたかは判らない。知られてゐる第一の吟行詩人の名はバーンである。彼はおよそ十六世紀の上半期の人であつた、彼の殘した原稿は斷片的になつてしまつてゐる。しかしその音節、旋律、形式は何れも整つたものである。古代には、これらの詩が土耳古の詩體をなすものと認められてゐた。ペイ教授は數行を引用してゐる

スダン、サイリムは
その寶座に坐つて言つた
「來い、我らは埃及を征服しやう
ダマスカスの人民はみな城から出て
我々の前を逃げてゆく
我々はカラサンとミーテを征服しやう
我々はララウンサフを征服しやう」
スダンは斯く言ひつゝ前進した
左や右を偵察した
「さあ跟いて來い」彼は言つた
そして前進した

第四卷の吟行詩人の歴史に於ては十六世紀の四人の詩人について論じてある。クル・メエシレッド、エウブスズ・デーデ、ケウログロウル、ハヤリである。彼等の詩體と一種の思想、主題は次の例から知られる。

おう、山獄よ
お前は私の可愛いい奴を目かけなかつたか？
お前はあれに今日の挨拶をしなかつたか？
×　×　×
あゝ
可愛いい君よ
私は君の蔚藍の眼を崇拜する
私の心は君のものだ
私は天に向つて斯う尋ねた
あなたは彼女を天使に生んだのではありませんかと

これらの詩はその内在的價値の外に、また多くの時代の描畫を提供してゐる。これらの詩を聽く者は文人學士ではなく、一般普通の兵士であつたから、詩體は極めて簡略で解し易い。その他の諸卷は、完全に各詩人の作品を盛つてゐる。エルズルム・エムラーは十九世紀の吟行詩人であり、ブリスエタン・アブドルはキジルバッシが十七世紀に裏海の東に住んでゐたトルコモン民族の人である。マスタフエとゲヴエヴリーは何れも十七世紀に最も流行した抒情詩人である。ゲヴエヴリーの作品は百七十六首の情歌があり、何れも愛情と自然の麗景とをうたつてゐる。

學藝消息

△滿洲歌話會歌會　十一日(土)午後六時大興ビル地階富葉グリルで開催、會費八十錢、近詠一首持參のこと會員外の出席も歡迎する

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し(係)

△滿洲公論(五月號)松宮幸太郎「黎明期の極東ブロック」光妙寺源三郎「北支農業開發當面の問題」西川清六「生きる」等(大連市伊勢町一一三、滿洲公論社、五十錢)

△滿鐵調査月報(五月號)清水盛光「支那に於ける家族構造の特質」「大陸經營の諸問題」その他多くの調査物を載す(滿鐵發行、五十錢)

△電々(六月號)奥本滿夏「南の漫步」その他(新京大同大街六〇一、電々倶樂部、三十錢)

△滿洲評論(十四卷二一號)橘「軍事から政治へ」小山貞知「第三戰爭論」その他(大連市大廣場東拓ビル、滿洲評論社、十五錢)

△反共(五月十日號)「肅正か危か」「ブハーリン公判を抉る」等哈爾濱南崗義州街一二三、反共社十錢)

△實業之世界(六月號)小島精一「アメリカは何故不景氣か」「名古屋經濟界概觀」等を盛る(東京市芝區芝公園五號地一〇ノ三、實業之世界社、四十錢)

△モダン滿洲(五月號)以前の『新京』が改題されたもの、大衆ものや匿名時評に新機軸を出さうとしてゐる、些か思ひ付きだけの記事と言つたものもある、折角發展を祈らう、藤川研一「春のノラクラ旅日記」徐山谷三郎遺稿「探炭機」徐萩作・大内隆雄譯『鏡子』など注目されるもの(新京祝町二ノ四、モダン滿洲社、四十錢)

△新大陸(六月號)諏訪孝次「北滿の樂土から」村越信夫「北滿の現狀と其の開發問題」北本孝尊「滿洲農業具界片見記」等がある(東京市向島區寺島町五ノ一八、新京七馬路八號地、新大陸社、四十錢)

△正金週報(二〇號)「獨逸の墺太利經濟工作」「世界貿易に於ける英國の後退」等(横濱正金銀行調査課)

△綠十字(三六號)遠藤繁清「兒童保健學園具體案に就て」がある(大連市外小平島保養院内、綠十字會、二錢)

△萬博(五月號)日本萬博の進捗情況を報告す(東京市麹町區有樂町一ノ二、日本萬國博覽會事務局、十錢)

△内外經濟情報(六月號)滿洲經濟の動きを報ずる滿文月刊(新京特別市西四道街一三、日滿實業協會滿洲支部、十五錢)

△斯民(六月一日號)娘々廟會、ハインケル機、水運汽舟、ビール製造等のグラフに時事解説、文藝(新京北安路、滿洲國通信社、一角三分)

面白づくめ
傑作づくめ
小說と實話滿載號
婦人俱樂部夏の增刊
全部讀切り
急告
今度の增刊は特別奉仕の大增刊で沸き返る大評判!!
慰問品には是が一番喜ばれます
送料僅か五錢―盛んに御利用下さい。
口繪特輯 名場面繪卷
川柳円満風景
結婚記念寫眞集
名優當り藝畫報
戀と淚の悲劇實話集
最近天下の話題となり萬人の淚を絞らせた悲劇事件の眞相、運命の數奇眞に驚くべき實話の大特輯!
日大生殺し後日物語 罪業消滅を祈る姉弟 花村哲夫
嘗てのオペラの女王 澤モリノ流浪哀史 佐山英太郎
社會の罪か人の罪か 法廷に泣く運命の女 楠瀨正
北川教授と喫茶女給 樹海に眠る花嫁 清閑寺健
愛の勝利 香氣ある頁 丹羽文雄
裸の快俠 聖天の花五郎 長谷川伸
謎の手紙 母と母 廣津和郎
美男美女 月夜の物語 尾崎士郎
戀と義と 夕顏の門(吉川英治)
戀は悲し！士道は重し！運命の子に淚流る！
十九のお市に魔がさした、戀は曲者命とり、武士の妻ゆゑこの大悲劇、文豪快心の大傑作。
青春秘話 戀愛休戰(菊池寛)
召集令！男の友情！愛を爭ふ二青年 讓るは誰ぞ！感激の大傑作
純情理想的の二青年から同時に求婚された禮子の惱み、親友同志の二青年の惱み、文豪の麗筆何う解決したか？胸躍る青春讀物。
特選長篇讀切り傑作集
妻の危機 通り雨 矢田津世子
圓滿蜜のやうな新婚家庭を荒すものは誰か？
人間哀史 鬱金櫻 加藤武雄
親子二代に渉る奇しき因緣、咲き盛る花の下、美貌なるが故に美女なるが故にこの悲劇！
惡魔の囁 棕梠の樹蔭 片岡鐵兵
思はぬ幸運、夢のやうな猶於、有頂天の青年を襲つた炎の洗禮 危い哉！運命の魔の渦！
辨天小僧 しぐれ曼陀羅 子母澤寬
美男菊之助の淚の悲哀
戀の義 青春の哀傷 中村武羅夫
天才悲曲 宵待草 武田麟太郎
藤島秀光
三門順子
アザブ・伸
神田ろ山
樋口靜雄
戰線慰問みやげ話
婦人も大喜び！男子も大喜び！家中で樂しめる大增刊!!
面白づく日本一面白い日本一讀應へのする特別增刊
運命流轉 江戸亡ぶ日(海音寺潮五郎)
微笑求愛 玩具の寫眞機(金子洋文)
探偵怪奇 情熱の犯罪(甲賀三郎)
人情講談 白蛾の花嫁(陸奥城川)
哄笑快笑 恋愛突擊隊(弘木丘太)
山窩奇談 山に還る(野村胡堂)
戰線秘話 日の丸の漣(岩崎榮)
大笑落語 みかんや(春風亭柳枝)
映畫物語 藤十郎の恋(長谷川一夫 入江たか子)
離れ鴛鴦 奇偶夫婦仁義(陸直次郎)
股旅道中 緣の蹴合鷄(土師淸二)
傑作落語 赤ちゃん萬歲(金太樓)
愛は輝く 光の使者(池田宣政)
母の悲劇 搖籃の歌(濱本浩)
送料五錢
東京小石川 大日本雄辯會講談社 振替東京三九三〇

シーズン初顔合せ 國都を勝る精鋭
四十組八十名の出場選手 けふ華々しく開幕

新京庭球界の新人古豪鎬を削る本社主催新京軟式庭球部後援の第一回全新京軟式庭球トーナメント大會は愈よ今日午前九時より西廣場小學校、滿鐵西廣場兩コートに於て擧行される【寫眞は優勝杖】

第一回全新京軟式庭球大會
本社主催
新京軟式庭球部後援

今シーズン初の顔合せとて各選手の緊張また一段、殊に軟式庭球部ではこの成績に依り對外試合の新京代表を詮衡するといふので負けられない一戰とて白熱化が豫想され多大の興味がかけられてゐる

▲大會順序
一、選手入場 午前九時 一、開會の辭 一、會長挨拶 一、審判注意 一、試合 一、優勝杖並に賞品授與 一、閉會の辭

▲審判員
長與(民生部)中村(滿鐵)向井(興銀)江崎(興銀)井崎(横濱ゴム)谷岡(電々)東(三協)尾根山(電業)引田(電業)磯崎(電業)工藤(日滿商事)

▲組合

豫備戰
1 (林、川村(興銀) (中谷、相葉(京商)
2 (藤本、黒澤(滿炭) (安達、泉(京商)
3 (藤原、松木(電業) (楊、韓(市公署)
4 (阿久津、君島(滿鐵) (吳、劉(宮內府)

第一回戰
(工藤、井崎(實業) (富永、三輪(興銀)
(明、木村(滿鐵) (小野、春日(市公署)
(藤本、瀧井(市公署) (加藤、近藤(郵總局)
(江崎、中西(興銀) 二番組勝者
(崔、黃(市中) (引田、尾根山(電業)
(谷口、津野(市公署) (田部井、宮內(電業)
(檜垣、中村(滿鐵) (佐藤、本田(宮內府)
(東、谷岡(實業) 一番組勝者
(加藤、藤澤(實業) (原田、朴(興銀)
(松尾、山田(電業) (中原、有馬(滿火)
(島田、山崎(市公署) (新井、岩元(京商)
(磯崎、因藤(電業) 四番組勝者
(林田、安藤(宮內府) (向井、李(興銀)
(谷川、仲森(滿炭) (小板、島崎(京商)
(吉田、西崎(興銀) (安原、禰本(滿鑛)
(長與、中村(實業) 三番組勝者

秋の大會に備へ
ハリキル國都軍犬界
十二日早くも競技豫習會

滿洲軍用犬協會主催全滿軍犬訓練競技大會は九月上旬新京で開催されることに決定したが新京支部では同競技大會の

優勝

を目ざしこれが準備工作として十二日午前九時より興安大路支部構內で訓練競技豫習會を開催更に七月十日には大同公園にて支部主催全新京軍犬競技大會を催し萬全の策を講ずることになつたなほ國都の軍犬は最近著しき進歩を見せ過般大連で開催された全滿共進會には一等優勝犬新井氏のフォルカー號を始め數頭の入賞あり萬丈の氣を吐いたが一方性能に於ても優秀なるもの多々あり中でも高橋春松氏の愛犬

ペス

號の如き今秋訓練競技優勝候補のナンバーワンで一昨年十二月二十五日基本訓練を總つてより爾來高橋氏の熱心なる訓練により今では應用訓練も殆んど課程を終へ就中捜査は最も得意とするところで十五時間を經過した足跡を辿つて百中の捜査率を示すなど性能の優秀さを誇つてゐる【寫眞は高橋氏の愛犬ペス號の跳躍と板塀乘越へ】

安部黨首襲撃事件判決
千々波懲役六月

【東京國通】安部社大黨首襲撃事件の風雲塾の塾頭千々波敬太郎等六名にかゝる傷害事件は四日左の如く判決言渡しがあつた

懲役六月(求刑同八月) 風雲塾々頭 千々波 敬太郎(三九)
懲役五月(同六月) 同相談役 萬年 東一(四一)
懲役五月(同六月) 同行動隊員 八重 勝雄(三四)
懲役四月(同六月) 同行動隊員 山田 勇吉(二五)
懲役四月(同六月) 內富 義之(二八)
懲役四月(同五月) 同相談役 森 濤一(三一)

なほ全被告とも判決を不服として即日控訴の手續きをとつた

前線滿鐵派遣員の活躍
カメラの報告展
七日から十日まで三中井で

昨年七月以來命令一下北支の戰線に出動した滿鐵社員は約二萬によりこれら武器なき挺身隊の涙ぐましき活躍により北支の各鐵道は殆んど事變前の狀態に復してゐる、滿鐵では各鐵道事務所々管鐵道沿線の社員活躍並に治安回復狀況をカメラに收め一般に公開することゝなり新京では七日から十日まで大同大街三中井百貨店五階に於て支社弘報係主催本社後援で展覽會を開催することになつた、展覽寫眞は滿鐵北支事務局、同鐵道事務所、張家口鐵道事務所、京漢沿線、正太線、太原、津浦線沿線等數百點でいづれも一目現地の狀況を知ると共に武器なき戰士に對し感謝の念を起させるに充分なるものばかりである

入質して捕る

去月廿九日午後六時頃西五馬路永春路大安影戲院で偶入周久明のレインコート、衣類その他數點(時價五十圓)を何者かに竊取された盜難事件あり所轄大經路署で犯人捜査中であつたが四日午後二時頃六馬路質店慶記當へ入質に來た擧動不審の滿人男を密行中の同署員が發見取調べたところ右贓品と判つて逮捕した、この男は奉天省生れ無職黃文海(二〇)で餘罪多數と見られ嚴重追及中

我等の新京特別市
本年度豫算決定
總計約一千萬圓の巨額
中旬に諮議會招集

今春早々發表されることとなつてゐた新京特別市の本年度豫算案は政府の査定が豫想外に遲れた爲半歲を過ぎた今日未だに

公表

の段取りに至つてゐないが愈よこの程政府の査定が終つたので十日過ぎ諮議會を招集し諮問の後一般に發表されることとなつた、本年度全豫算は國建その他の特別會計をも含み約一千萬圓といふ躍進國都に相應しい

彪大

な數字に上つてゐるが附屬地移讓に依つて必然的に生じた約百萬圓の赤字は國庫の補助と大體決定した模樣であるが、鯉沼財務處長は右に關し左の如く語る

豫算が決定したが多少遲れてもその間決して新規事業をしてゐないといふ譯ではなく着々所期のプラン通り進めてゐますから市民の方々は安心して頂き度い、政府の方でも當市の特殊性を良く理解され國都建設の重大性を終始念頭に置いて豫算の審査に當られ充分市公署側の意向をくんで貰つたつもりです

不屆なトラック

去月三十一日午後九時頃南嶺街道綜合運動場附近の電柱が折損高壓線が切斷して同所から火花を發してゐた極めて危險な狀態を電業會社が逸早く故障を發見幸ひに事なきを得たが、原因調査の結果附近疾走中のトラックが衝突した形跡があり所轄四道街署に屆出あり同署では危險狀態をも屆出せず放任したまゝ逃走した自動車につき爾來鋭意捜査中であつたが、四日午前十時頃有力なる容疑者滿人運轉手某を引致し目下嚴重取調べ中である

競馬と遊びで六百圓費込み

市內興安大路四〇二號天幕商於勢商店々員北海道札幌市生れ堀田憲朗(二六)は市內カフエーに於て身分不相應の遊興をしつゝあつたが偶々大經路署二田口刑事が探知し金の出所に不審を抱き調査したところ堀田は本年二月入店以來競馬とカフエー遊びから金に窮し得意先より六百圓を集金橫領した罪狀判明、四日午前九時頃逮捕目下嚴重取調べ中である

夫人、令孃團は國婦の招宴に

伊太利經濟使節團一行中の女性コンテイ夫人以下五名の夫人、令孃は四日午後二時から男子組とは別行動を取り寛いだ家庭使節として國防婦人會接待委員の案內で先づ新京神社に參拜、ついで忠靈塔に眠る盟邦の勇士の英靈に默禱を捧げてより特別市公署を訪問國都建設狀況について說明を受け、その實狀視察にと一同揃つて車を連ね市中を見物して今迄の日本都市とは又異つた新興滿洲國首都の發展振りにすつかり感嘆の聲をあげて午後五時一旦ホテルに歸還、午後七時日滿軍人會館に於る國防婦人會主催の歡迎懇談會にと臨んだ、會場大ホールの使節席を圍んで張國務總理夫人、星野總務長官夫人以下接待委員、新京各分會役員百廿名の出席の下になごやかな晩餐が始められ、バンドの奏する音樂の靜かな雰圍氣に包まれた日滿伊三國の女性達の美はしい親善風景は南國伊太利が持つ數々の神秘の說明に、歡迎の波に送られて來た日本の美はしい山や水、そして人の心の讃美に、新興滿洲國の世紀の驚異と稱される發展の祝福にと何時果つるともなくこよなくも樂しき一時を過し午後十時お互の熱い感謝のうちに散會した【寫眞は忠靈塔參拜】

◇新京野球聯盟リーグ戰勝敗率◇

	新京	滿洲	電業	電々	試合數	勝數	勝率
新京	×	0	0	1	1	1	1.000
滿洲	0	×	0	0	1	0	0.000
電業	0	1	×	0	1	1	1.000
電々	0	0	0	×	1	0	[illegible]
敗	0	1	0	1			

◇打擊率◇

	試合數	打數	安打	壘打數	打擊率
杉田(電業)	1	1	1	1	1.000
岩本(電々)	1	3	2	2	.667
內山(新京)	1	5	3	5	.600
宍戸(電業)	1	4	2	3	.500
永島(新京)	1	4	2	2	.500
吉江(新京)	1	4	2	2	.50
緒方(電業)	1	4	2	2	.500

賀川氏 協和會と懇談

滿鐵の招聘で目下來京中の賀川豐彥氏は五日午後協和會を訪問することとなつてゐるが中央本部では午後四時より第一會議室で同氏を中心に座談會を開催し氏の抱負を聞くと共に滿洲國の特種事情を說明しお互に胸襟を開いて忌憚のない意見を交換し合ふことゝなつた

トルコの留日海軍士官來京

日本及び支那を視察した日本海軍大學校入學中のトルコ海軍學生海軍少佐ゼー・ピー・エンウエル、同大尉シキレフ・カラスマル兩氏は、指導官小田切政德海軍少佐(海軍大學校教官)指導のもとに三日午後六時廿分新京着ヤマトホテルに入つたが、四日より各機關を訪問の後五日午前七時十五分新京發哈爾濱に向ひ六日哈爾濱發南下し奉天各機關を視察訪問の後、撫順を見學、八日午後十時五十分奉天發列車で京城に赴く筈である

警察協會改組か

治安部警務司當局では恩惠の薄い全滿警察官十萬の共助救恤機關開設に關し豫て考究中であつたが、現在の警察協會がその事業內容において名實伴はぬ嫌ひがあるところから同協會の內容を充實し三百萬圓程度の社團法人に組織替へして警察官共助の中心機關とすることに內定、今秋までに實現すべく目下財源の捻出方法を考究中である、なほ右實現の曉は先づ文化的施設の恩惠の少い黑河、三江、通化、間島、牡丹江五省の中心都市に一ヶ所約三十萬圓の工費を以て警察官子弟の教育と醫療施設を具備した警察會館を建設する豫定である

滿洲國政府でも人造纖維を奬勵

戰時資源確保のため日本政府は極力人造纖維の奬勵につとめてゐるが滿洲國でもこれに呼應して一般に人造纖維混紡織の使用を奬勵することになり政府は三日組織法三十六條により參議府の諮詢を經て左の如く勅令を公布した

勅令第一百二十五號綿と人造纖維素纖維とを混紡した織糸に對する輸入稅率の適用に關する件

當分の間織糸中に全重量の百分の十を超ゆる重量の綿と共に混紡したる人造纖維素纖維は關稅法に規定する輸入稅率の適用に對し之を綿と見做す純糸以外の物品を構成する織糸中に混紡したる人造纖維素纖維に付亦前項に同じ

附則本令は公布の日より之を施行す

早大勝つ 對慶應一回戰
10──1

【東京國通】春季リーグの最終を飾る早慶一回戰は四日午後一時卅五分早大先攻で開始一は覇權を獲得せんものと邁進し、一は傳統に生きて先勝せんものと共に全力を擧げて戰つたが早大の健棒は慶應これを押へ切れず結局十對一で早大先勝した、閉戰午後四時廿三分

早大	100400500	10
慶應	000000100	1

バッテリー
早大 近藤、小楠
慶應 中田、高塚、成田、櫻井、井上

麻布獸醫校 七日同窓會

在京麻布獸醫學校の同窓會を七日午後六時から東二條通カフエー銀座會館で開催するが、同窓生の多數參會を希望されてゐる尙ほ申込は市公署今泉宛に

滿映新總務課長

滿洲映畫協會新總務課長三上眞幾雄氏は四日挨拶に來社

旅行團便り

鹿兒島商工會議所視察團十名は五日午後二時來京、六日午後二時十分發奉天へ▲山口縣德山商業生徒百十名は五日午後四時三十分來京旭ホテルに投宿、六日午後四時四十分發奉天へ▲產業部農產科家族團は五日午前八時三十分發、午後七時三十分着公主嶺往復▲國際運輸家族團は五日午前十時三十五分發、午後七時三十五分着下九台往復

一時は目の上の敵のように非難されたバスの運行も「新車購入」の藥と會社當局の努力が効を奏し非常に旨く行つてゐる(車內サービスはパッとしないが)▲八號線も二、三號線の配車は乘客の待合せを解消して市民の要望に滿足を與へ橋口專務、松本課長等もホッとしてゐるが▲バスに次いで市民の氣に病むのは新京の道路が悪い事だ、折角の新車や大型バスもあの凹凸腸わたをくつがへす道路ではガタ／＼の車と同樣で觀光バスの氣分も全くゼロになる▲東一條通り、八島通り、參謀長官邸から警備司令部への通路等その代表的なもの、ほかに舗裝の壞れを放任してゐるところはザラにある▲電燈や飼ひ犬に課稅するのが良いとは言はれぬがその稅金でマサか砂利を喰つてゐるわけでもあるまいから砂上樓閣の理想計畫に腦漿を絞るより先づ道路を修理し馬糞を除去し植樹節でお祭り騷ぎをする金で街路樹の一本でも植えては如何▲此の儘では副市長、財、工務處長に市民の投書が山積みに送られますよ

天氣と氣溫
けふの天氣 南寄りの風やゝ強く曇
きのふの氣溫 最高 二七度二 最低 八度一

若殿膝栗毛（わかとのひざくりげ）

(上海映畫) 中川雨之助　竹ひ一郎畫

蛇煙 (十三)

「まあお待ち」

そは付く黒田を制して、お銀はなにかしきりに考へ込んでゐる。

軍平と香島の仲が、どうして結び付いたのか。そして、どうしてこの東海道へ乘り出して來たのか？

それも考へさせられるが。しかし、それよりは、第一。

向ひの江島屋に泊つてゐる長七郎と、香島とを、どうかして會はせないやうにしたい。

それが肝腎のことであつた。

「ひよつとして、軍平が、向ひの座敷に泊つてゐるのぢやないだらうか」

「まさか」

「こゝで待ち合す約束で、後からやつて來るのぢやないだらうか」

黒田が、あまり軍平の影法師に怯えてゐる。男のくせに……と思ふと、お銀はソロ〳〵不面倒になつて來た。

「臆病もの……なんだい、軍平の一人や二人、男なら、おまいさんも、もつと膽りおしよ」

そう言はれて見ると、黒田は意氣地なく默りこくつてしまつた。

旅籠の夜は次第に靜まつて、庭の筧の水音が、だん〳〵夜更を刻んで行くのだつた。

枕元の煙草盆を引き寄せて、お銀は煙草を吹かし始めた。

彼女の胸に、何か込み入つた企らみの芽生える時、いつも煙草を吹かしながら、チットその煙りを見据えながら考へる。

その煙が、のの字を描き、横に流れて蛇の形を現はすやうに、お銀の胸には、さま〳〵の企みが渦を巻いたり消えたりする。

やがて、煙管をポンと投げ出すと。

「あ、さうだ、それに限い！」

と獨り合點だ。

「どうするんだ？」

その耳元へ口を寄せて何かさゝやくと。

「えッ」と、驚く黒田。

「シッ、靜かにお仕よッ」

◇

旅籠屋杉屋の裏手は、ズッと一面の野面につゞいてゐた。

夜の氣配が、さつき鳴つたばかり、見渡す五月闇の彼方此方に、ぽつり〳〵と灯影のチラつくのも田舍めき、ガア〳〵と一面に鳴く雨のやうな蛙の聲だ。

けふは朝から、梅雨のやうな鬱陶しい雨に降りこめられて、旅人の多くは一日の逗留。

今しも、その杉屋の裏木戸がギイと開いて、其處にせゝらぐ裏川の小橋の上へ現れた男女の影法師。

それはお銀と主膳とであつた。

「ねえ、梅澤さん、おまいさんも驚いたでせうが、あたしも吃驚した。まつたく不思議の御對面、これは〳〵といふ感だねえ」

笑ひ半分、お銀は砕けた調子である。

「如何にも、意外、宿の廊下で。」

うつかりしてゐる處を、不意に肩を叩かれ、振り向いて見ると、おぬしが立つてゐる。驚かざるを得ないぢやないか。あはゝゝゝ」

笑つてゐるが、しかし、心の底まで解け切てゐないやうな何處か硬ばつた主膳の態度であつた。

「どうせ、胸にギックリ五寸釘といふ處でせうよ。厭やうで狹いは世間、ほんとに悪いことは出來ませんねえ」

「悪いこと……はゝゝゝ、おぬしは、何か勘違ひをしてゐるのでないか？」

お銀は、わざと仰山さうに、

「まあ、あんなに殆く白つぱくれてさあ。ねえ梅澤さん、夏の夜は短いから、七面倒な掛引は抜きにして、ざつくばらんに、話の本筋に入りますがね、愛一番、なんとも言ひつこ無しで、綺麗に願つて貰はうぢやありませんか」